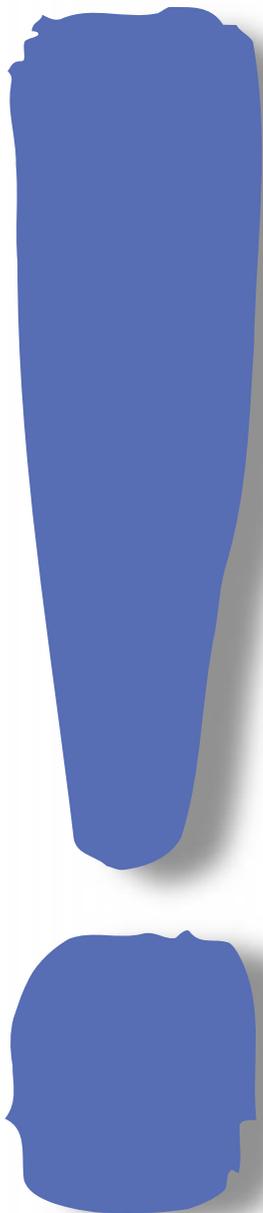


わかる、できる、役に立つ!!

インストール準備



最初に電源を入れるときの、必読書!

インストール設置場所、取り出し方から親切に説明!

接続に迷ったときは、1冊!

PC98-NX SERIES

VALUESTAR NX

VC40D/5 VC35D/5 VC33H/5 VC30H/5
VE40D/5 VE35D/5 VE30H/5



はじめに

この本は、パソコンを買ったら最初にしなければならない、接続と準備について説明します。はじめてパソコンに触れる人でも、迷ったりすることなく、まちがえずに操作を進めていけるように作られています。

パソコンの箱を開けて、置き場所に迷ったりしたときから、この本があなたの役に立つはずです。はじめて電源を入れ、パソコンを使えるようにするための準備作業についても、ていねいに説明しています。すでにパソコンを使ったことがある方も、この本は、必ず読んでください。

1998年11月 初版

このマニュアルの表記について

手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側のグレーの部分には、操作に関連する補足説明や用語解説などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています



警告

注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。



感電注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。



禁止事項を示します。



電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。



アース線を必ず接続するように指示するものです。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



チェック!!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



ポイント

そこまでに説明した手順の中でとくに大切なポイントがまとめられています。後から応用するときのヒントとして利用してください。



用語

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



参照

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】 【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

プリンタ、
コネクタなど

「プリンター」や「コネクタ」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。

このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

表をご覧ください。購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル(機種)を指します。
CRTディスプレイ セットモデル	CRTディスプレイがセットになっているモデルのことです。
液晶ディスプレイ セットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
一太郎モデル	一太郎9パックがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Wordモデル	Word、Excel、Outlookがあらかじめインストールされているモデルのことです。

型名	型番	表記の区分				
		本体の形状	CD-ROM /DVD-ROM	ディスプレイ	添付アプリケーション	
VC40D/5GC1	PC-VC40D5GC1	コンパクトタイプ	CD-ROM モデル	液晶ディスプレイセットモデル (15インチ液晶)	一太郎モデル	
VC40D/5GD1	PC-VC40D5GD1				Wordモデル	
VC35D/5YC1	PC-VC35D5YC1			液晶ディスプレイセットモデル (14インチ液晶)	一太郎モデル	
VC35D/5YD1	PC-VC35D5YD1				Wordモデル	
VC35D/5YC2	PC-VC35D5YC2				一太郎モデル	
VC35D/5YD2	PC-VC35D5YD2				Wordモデル	
VC33H/5XC1	PC-VC33H5XC1				一太郎モデル	
VC33H/5XD1	PC-VC33H5XD1				Wordモデル	
VC33H/5XC2	PC-VC33H5XC2				一太郎モデル	
VC33H/5XD2	PC-VC33H5XD2				Wordモデル	
VC30H/5XC1	PC-VC30H5XC1				一太郎モデル	
VC30H/5XD1	PC-VC30H5XD1				Wordモデル	
VC30H/5XC2	PC-VC30H5XC2				一太郎モデル	
VC30H/5XD2	PC-VC30H5XD2				Wordモデル	
VE40D/57C	PC-VE40D57C				CRTディスプレイセットモデル (17インチCRT)	一太郎モデル
VE40D/57D	PC-VE40D57D					Wordモデル
VE35D/57C	PC-VE35D57C			一太郎モデル		
VE35D/57D	PC-VE35D57D			Wordモデル		
VE30H/57C	PC-VE30H57C			一太郎モデル		
VE30H/57D	PC-VE30H57D			Wordモデル		
VE30H/55C	PC-VE30H55C	CRTディスプレイセットモデル (15インチCRT)	一太郎モデル			
VE30H/55D	PC-VE30H55D		Wordモデル			

本文中の画面

本文中の画面はモデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)

(正式名称)

Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
一太郎	一太郎9
一太郎9パック	一太郎9パック(一太郎9、三四郎8/R2.U、花子9、FullBand1.2U with ATOK12)
Excel、Word、 Outlook	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 98 for Windows®

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」、「花子」、「FullBand」、「ATOK」、「JustNet」、「Shuriken」は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。

「一太郎9パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎9パック」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

VirusScanは、米国Network Associates社および関連会社の商標または登録商標です。

パソコン探検箱は、日本電気株式会社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っておりません。

目次

CONTENTS

はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii

PART

1



パソコンを置く場所を決めよう 1

置き場所を決める	2
パソコンを置くのに適した場所	2
パソコンを置くのに必要な広さ	3
インターネットするなら、パソコンは電話の近くに	4
パソコンを置くのに適さない場所	5
パソコンの近くに置いてはいけないもの	5
電源の取り方	7
パソコンに必要な電源	7
パソコンの置き方	8
パソコン本体の梱包箱からの取り出し方	8
CRT ディスプレイの梱包箱からの取り出し方	8
液晶ディスプレイの梱包箱からの取り出し方	9
接続する前に	10
パソコンの周囲に添付品を置く	12
型番と製造番号を確認する	12

PART

2



パソコンを接続する 15

接続するときの注意	16
パソコンを接続する手順	17
パソコン本体にスタビライザを取り付ける	18
キーボードを接続する	22
キーボードを接続する(CRT ディスプレイセットモデルの場合)...	22
キーボードを接続する(液晶ディスプレイセットモデルの場合)...	25
マウスを接続する	29
ディスプレイを接続する	30
ディスプレイを接続する(CRT ディスプレイセットモデルの場合)...	30
ディスプレイを接続する(液晶ディスプレイセットモデルの場合).....	33
スピーカを接続する	35
左右のスピーカを接続する	36



スピーカをパソコン本体に接続する	37
電話回線に接続する	38
電話機をパソコンにつなぐ	39
パソコンを電話回線につなぐ	40
アースを接続する	41
電源ケーブルを接続する	43
ディスプレイ用電源ケーブルを接続する(CRTディスプレイセットモデルの場合)	44
ディスプレイ用電源ケーブルを接続する(液晶ディスプレイセットモデルの場合)	45
スピーカの AC アダプタを接続する	46
パソコン本体の電源ケーブルを接続する	47
電源を入れてパソコンを使えるようにする	51
電源を入れる	52
名前を打ち込む	55
マウスを動かしてみる	55
ローマ字が打てるようにする	56
自分の名前をローマ字で打ち込む	58
「次へ」をクリックする	59
Windows のプロダクト キーを入れる	60
使用許諾契約に同意する	60
プロダクト キーを入れる	61
残りの手順を進める	63
「Windows 98 へようこそ」の画面を閉じる	64
ValueStar の設定を行う	65
マウスを使ってパソコンの電源を切る	67
パソコンの電源を入れ直して確認する	69
もう一度、パソコンの電源を切る	71
正規ユーザーの登録を行う	73
他のマニュアルに進んでみる	75



付録 77

こんなときは 78

ローマ字つづり一覧 81

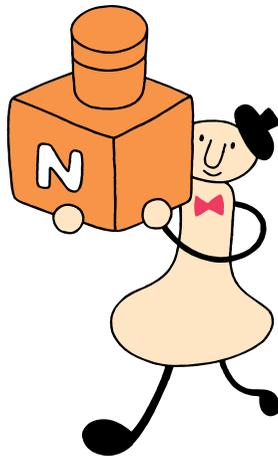
索引 83

PART

1

パソコンを置く場所を決めよう

まず最初にパソコンを置く場所を決めましょう。パソコンは精密機械ですから、置き場所についてはいくつか気をつけなければいけないことがあります。説明をよく読んで置き場所を決めたら、梱包箱からパソコンを取り出します。



置き場所を決める



まず、パソコンを置く場所を決めましょう。パソコンには、置くのに適した場所、適さない場所があります。また、パソコンの近くに置いてはいけないものもあります。

⚠️ 注意



感電注意

液体がかかる場所や湿気が多い場所に置かないでください。

パソコンを、水や油などの液体がかかる場所、湯気がかかる場所、湿気が多い場所に置くと、感電の原因になります。



感電注意

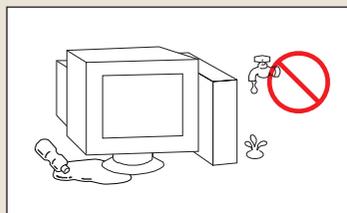
パソコンを屋外に置かないでください。

また、船舶、車輦などの内部では使用しないでください。



発火注意

感電、火災の原因になります。



パソコンを置くのに適した場所

1

屋内

パソコンは必ず屋内に置いてください。



2

温度 18℃ ~ 28℃ (結露しないこと)

湿度 45% ~ 75%

温度や湿度は、それほど気にする必要はありません。一応の目安として考えてください。

3

平らで十分な強度がある台の上

(パソコンが落ちるおそれがないこと)

パソコンを置くのに適当な台がない場合は、市販のパソコンラックなどを使うこともできます。使いやすさをよく考えて選びましょう。また、本体の転倒防止のために、添付のスタビライザを取り付けてください。

4

ホコリが少ない

パソコンにホコリは大敵です。ホコリの少ない場所を選んでください。

用語

結露

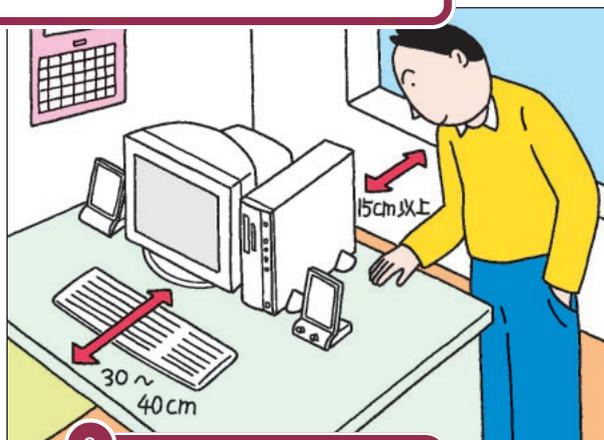
空気中の水分が金属板などの表面に触れて水滴となる現象です。寒い屋外から暖かい室内に入るとメガネが曇ったりするのも、結露の一例です。パソコンを温度の低い場所から暖かい部屋に持ち込んだりすると、機械の外側や内部に結露することがあります。このようなときは、電源を入れずに1時間以上置いておき、結露が収まるのを待ってから使ってください。

パソコンを置くのに必要な広さ

パソコンを設置する時には、キーボードやマウス、スピーカを置く場所や、配線のためのスペースが必要です。

1

パソコン本体の後ろ側に約 50cm(最低 15cm 以上)

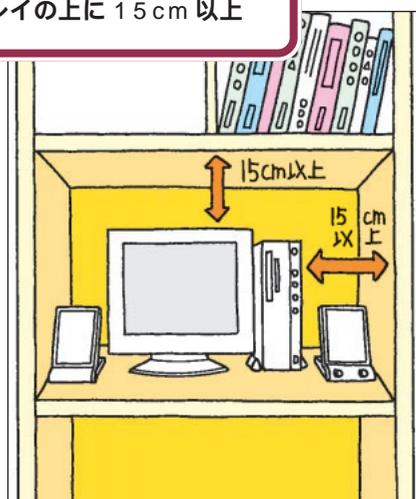


2

パソコン本体の前側に約 30 ~ 40cm

3

ディスプレイの上に 15cm 以上



本体の後ろ側には通風孔があるので、壁などから最低でも15cm離す必要があります。しかし、それだけではあとで配線をするときに大変です。50cm程度の余裕があれば、パソコンの後ろ側がよく見えるので、接続の作業が楽になります。

キーボードを置くためには、約20cm必要です。その上、ゆったりとキーを打つためには、さらに約10~20cmの余裕があったほうがよいでしょう。

意外に忘れがちなのが、パソコンの上の空間です。ディスプレイの上側にも通風孔があるので、通風孔と棚の天板などとの間を最低でも15cmあけてください。また、ディスプレイの上に物を置かないようにしてください。

また、パソコン本体を壁などの安定した場所に接しておけば、スタビライザを片側に取り付けるだけで、転倒防止できます。

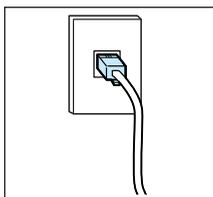
パソコン本体を横置きにしたときに、本体に載せられるCRTディスプレイなどの最大重量は、約17Kgまでです。

インターネットするなら、パソコンは電話の近くに

インターネットなど、パソコンの通信機能を利用するには、パソコンを電話線に接続する必要があります。あらかじめ電話機のそばにパソコンを設置しておくことをお勧めします。また、電話回線の接続口によっては、パソコンを接続できない場合があるので確認しておきましょう。

1

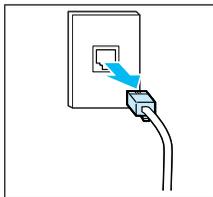
現在使っている電話機の
電話線接続口を調べる



2

電話線のプラグが簡単に
抜けることを確かめる

プラグを抜いたら、すぐに戻して
おくようしてください。



⚠ 注意

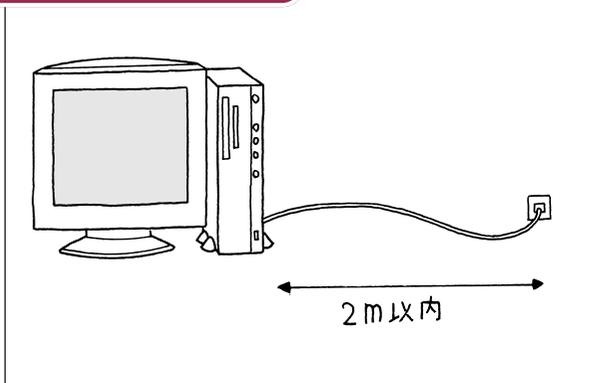


感電注意

モジュラーケーブル(電話線)を取り外したり、接続する
ときには、プラグの端子部分に触れないでください。
感電の原因になります。

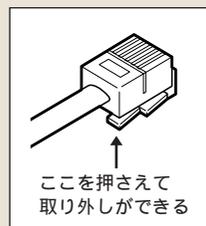
3

電話機の接続口から 2 m
以内で、パソコンを置くの
に適切な場所を決める



電話機の本体から電話線をたどっていくと、電話回線の接続口を見つけることができます。図のように電話回線を簡単に取り外せるような接続口(モジュラーコンセントと呼びます)になっていない場合、電話工事が必要になることがあります。詳しくは、お近くの電話工事店またはNTTにお問い合わせください。

電話線のプラグには、上下のどちらかにツメが付いています。このツメを指でつまんで押さえるようにすると、簡単に抜くことができます。



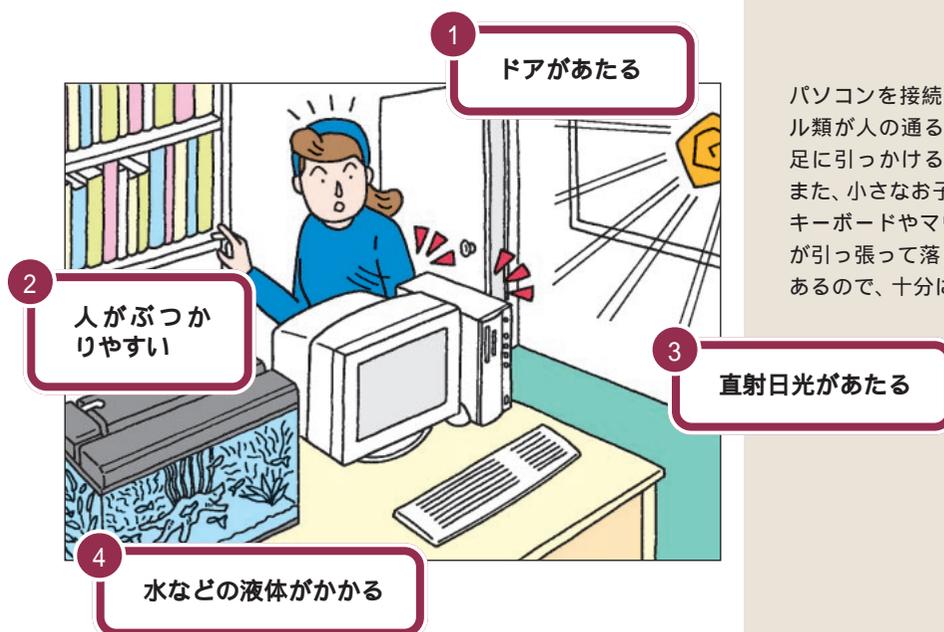
このパソコンを電話回線に接続するためのケーブルは、2 m の長さのものが付属しています。それよりも離れた場所にパソコンを設置する必要がある場合には、電気店またはパソコン販売店などで、必要な長さの「モジュラーケーブル」をお買い求めください。

用語

モジュラーケーブル

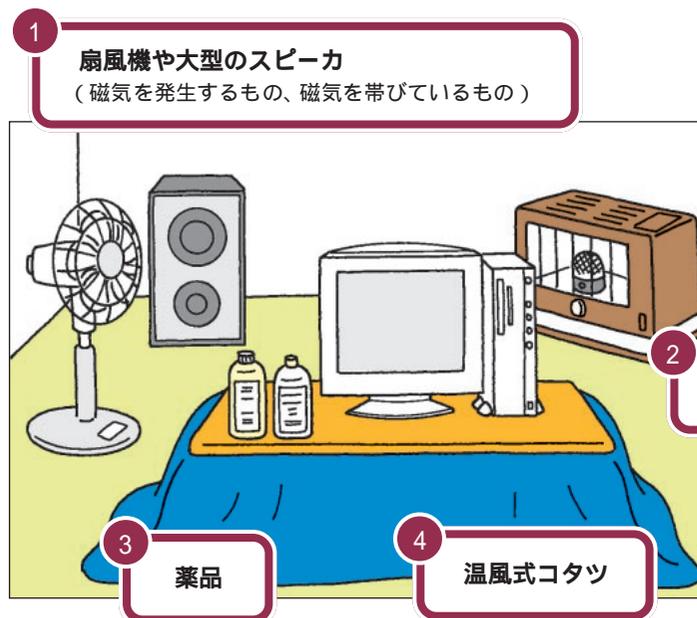
通常は、電話回線の接続口(モジュラーコンセント)と電話機を接続するのに使われるケーブルです。パソコンを電話回線の接続口につなぐときも、同じケーブルを使います。電気店などで購入できます。

パソコンを置くのに適さない場所



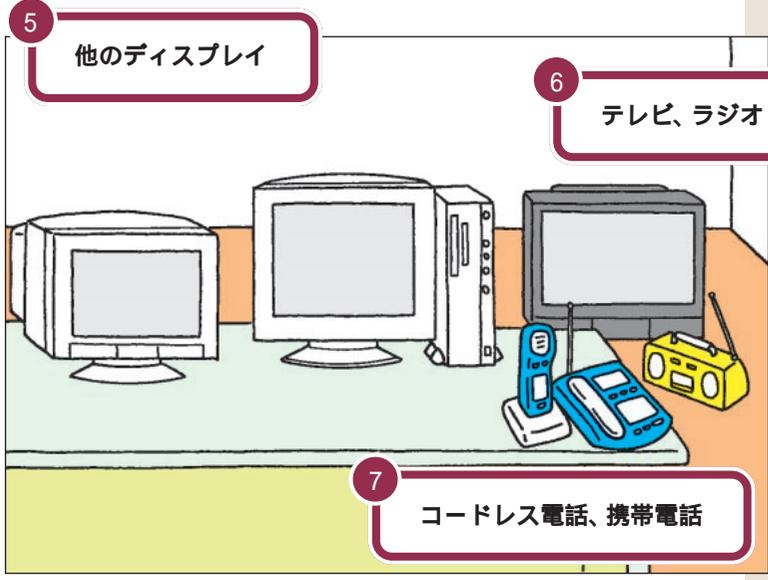
パソコンを接続したときに、ケーブル類が人の通る床をはっていると、足に引っかけるなどして危険です。また、小さなお子さんがある場合は、キーボードやマウスなどをお子さんが引っ張って落としてしまうこともあるので、十分にご注意ください。

パソコンの近くに置いてはいけないもの



パソコンは磁気の影響を受けやすいので、強い磁気が近くにあるとディスプレイの表示が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。パソコン用スピーカなど、磁気をもたさない(防磁設計)スピーカは近くに置いてかまいません。

温風式コタツも磁気を発生するので、パソコンを温風式コタツの上に置かないでください。



他のディスプレイの表示が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。

テレビやラジオにノイズが入ることがあります。

コードレス電話や携帯電話などで通話中のときにノイズが入ることがあります。

電源の取り方



パソコンの電源の取り方はとても大切です。コンセントの位置や数をよく確認しておきましょう。

⚠ 注意



感電注意



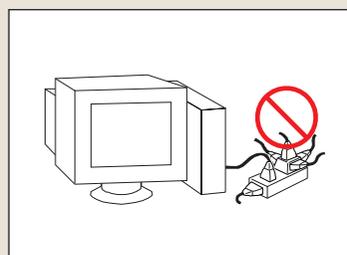
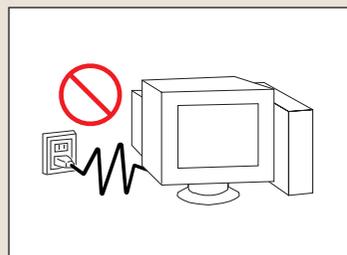
発火注意

電源ケーブルが折れ曲がらないようにしてください。

電源ケーブルが折れ曲がると、ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因になります。

AC100V(50/60Hz)の電源が使える場所に置いてください。

- ・AC100V(50/60Hz)以外の電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。
- ・タコ足配線にならないように、コンセントから直接電源が取れる場所に置いてください。
- ・電源ケーブルをタコ足配線にすると、コンセントが過熱して火災の原因になります。



パソコンに必要な電源

1

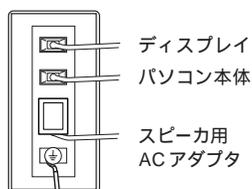
テレビ、ラジオなどとは別のコンセント



2

コンセント 3 口

(アース端子付きのもの)



アース端子

パソコン本体の電源、ディスプレイの電源、スピーカの電源を取ります。電源はコンセントから直接取ってください。コンセントが不足、パソコン用のテーブルタップ等を使う場合も、コンセントとテーブルタップの電流容量を必ず守ってください。

テレビ、ラジオなどと同じコンセントを使うと、テレビ、ラジオに雑音が入ることがあります。

コンセントにアース端子がない場合は、他の方法でアースを取っても構いませんが、その場合は必ずお近くの電気店など電気工事士の資格を持った人にアース端子付きコンセントの取り付けを相談してください。

パソコンの置き方



パソコンを箱から取り出すときは、2人で作業してください。持ち運んだり置いたりするときは慎重に。

⚠️ 注意



けが注意

パソコン本体を取り出すときは、パソコン本体を持って取り出してください。

パソコン本体を持たずに、衝撃吸収用の段ボールを持って取り出すと、パソコン本体が抜け落ち、けがやパソコン本体の破損の原因となります。

パソコン本体の梱包箱からの取り出し方



1

パソコン本体の箱から、パソコン本体をしっかりと持って、衝撃吸収用の段ボールごと、ゆっくり上に引き出す。

パソコン本体を静かに置く

パソコン本体を取り出したら、衝撃吸収用の段ボールを引き抜きます。次に、ビニール袋から取り出すときも、パソコン本体に衝撃を与えないよう、2人で慎重に行ってください。

机の上やパソコンラックなど、あらかじめ決めておいた設置場所に置いてください。

あとでパソコン本体にスタビライザという台を取り付けて縦に置きますが、それまでは横向きに置いておきましょう。

CRT ディスプレイの梱包箱からの取り出し方

1

パソコン本体と同じように、ディスプレイも、2人で慎重に箱から取り出す



2

ディスプレイの画面が見えるほうに立ち、ディスプレイの下に左右から手を差し込んでしっかり持つ

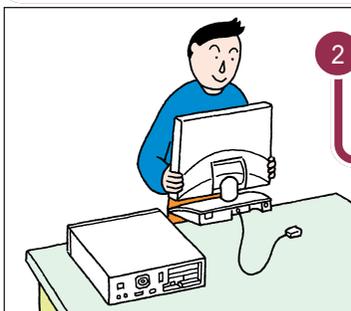
3

ディスプレイをパソコン本体の横に置く

液晶ディスプレイの梱包箱からの取り出し方

1

パソコン本体と同じように、ディスプレイを、慎重に箱から取り出す



2

ディスプレイの画面が見えるように立ち、ディスプレイの左右の端をしっかり持つ

3

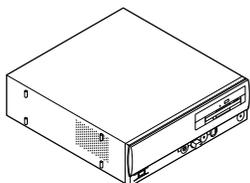
ディスプレイをパソコン本体の横に置く

接続する前に

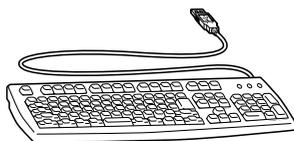


接続を始める前に、必要な機器が揃っているか確認しておきましょう。ここでは、添付品のうち、接続に使用するものだけを記載しています。

1 パソコン本体

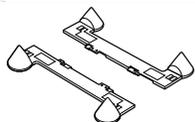


2 キーボード



添付品収納箱に入っているもの

1 スタビライザ



2 スタビライザ取付け用ネジ



ビニール袋に2本入っています。

3 マウス

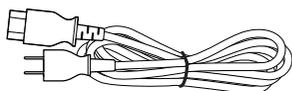


4 アース線



緑色の電線です。

5 本体電源ケーブル

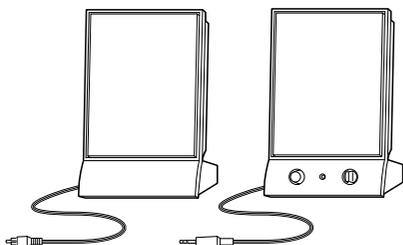
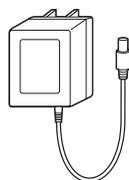


6 モジュラーケーブル



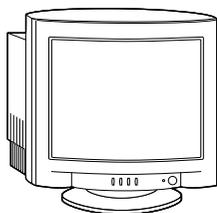
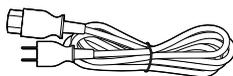
他に、プラスドライバーを準備してください。スタビライザの取付け、アース線の接続に必要です。

スピーカーセットの梱包箱に入っているもの

1
スピーカー2
ACアダプタ

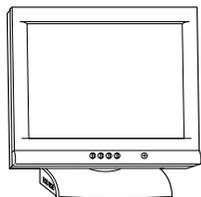
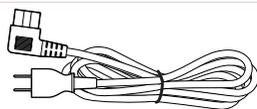
ディスプレイ梱包箱に入っているもの

(CRTディスプレイセットモデルの場合)

1
ディスプレイ2
ディスプレイ用電源ケーブル

ディスプレイ梱包箱に入っているもの

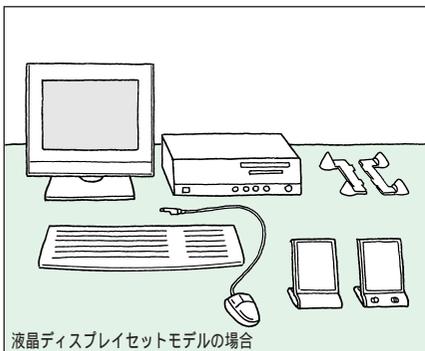
(液晶ディスプレイセットモデルの場合)

1
液晶ディスプレイ2
ディスプレイ用電源ケーブル3
USBケーブル

パソコンの周囲に添付品を置く

1

下のイラストのように、
添付品をパソコンの周囲
に置く

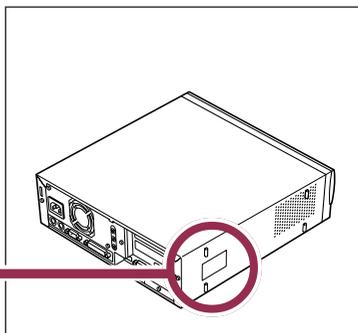


だいぶパソコンらしい姿になってきましたね。それぞれの接続方法については、次の PART で説明しています。

型番と製造番号を確認する

1

本体左側面の型番と
製造番号を確認する



あとでパソコン本体にスタビライザという台を取り付けて縦に置きますが、それまでは横向きに置いておきましょう。

2

保証書の記載と で確認した番号と
同じかどうか確認する



3

ディスプレイ本体とディスプレイの保証書を
同様に確認する

✓ チェック!!

本体左側面と保証書の記載が異なっていた場合は、ご購入元に連絡してください。

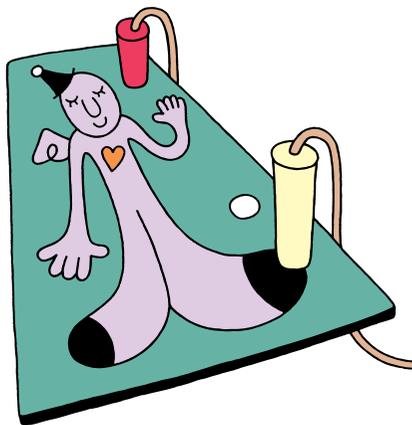
保証書は、ご購入元で所定事項をご記入のうえ、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元または、NEC サービスセンター、サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

PART

2

パソコンを接続する

キーボードやディスプレイなど、必要な機器を接続しないと、パソコンは働いてくれません。テレビやビデオと違って、いろいろなデータを扱うことができるパソコンの場合、ケーブルの接続口も独特の形のものが使われています。このあとの説明をよく読んで慎重に接続していきましょう。





接続するときの注意

機器を接続するときに守っていただく注意事項と、このパソコンを安全にお使いいただくための注意事項です。

⚠ 警告



感電注意

雷が鳴り出したら、電源ケーブル、ACアダプタ、モジュラーケーブル(電話線)、USBケーブル(キーボード、マウスのケーブル)の接続作業を中止してください。

落雷による感電のおそれがあります。

⚠ 注意



感電注意

必ず本体にアース線を接続してください。

アース線を接続しないと、感電の原因になります。



感電注意

アース線を接続するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。

感電の原因になります。



感電注意

周辺機器を接続するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。

感電の原因になります。



発火注意

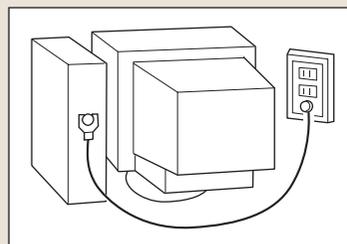
電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。

ケーブルを引っ張って抜くと、断線して火災の原因となります。



けが注意

ケーブル類は、つまずいたりひっかけたりしないように整理してください。



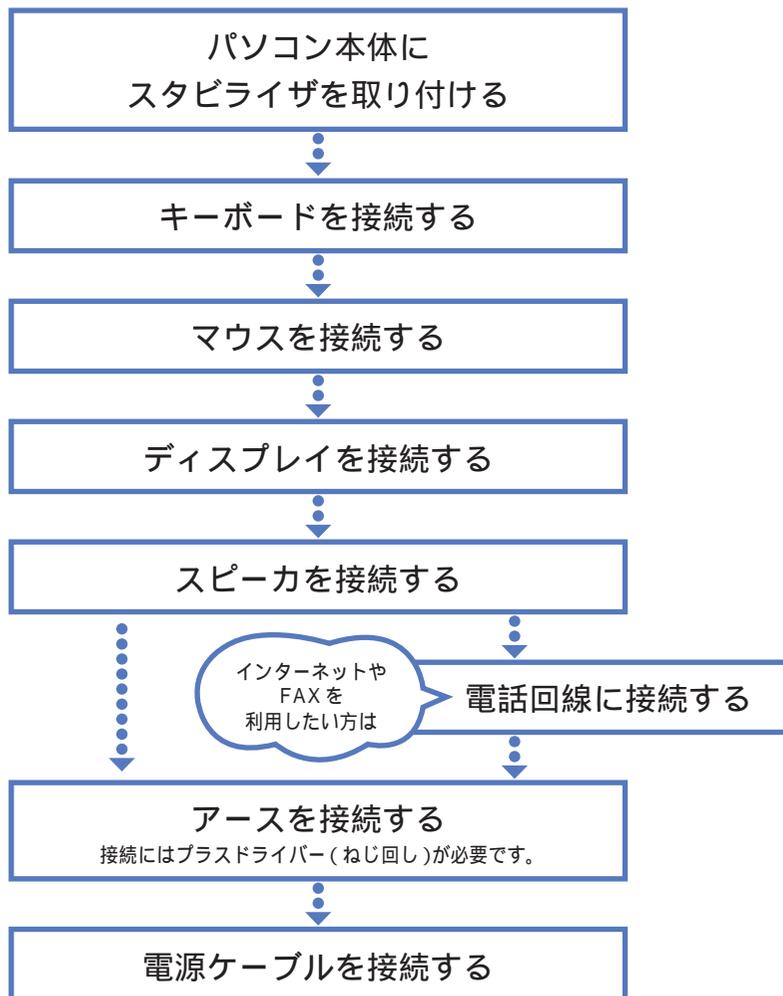
プリンタなど、周辺機器の接続は、あとから

プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでください。この本のPART 3「電源を入れてパソコンを使えるようにする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとで『拡張の手引き』をご覧になり、接続と設定を行ってください。



パソコンを接続する手順

これから始めるパソコンの接続は、次の手順で行います。接続をはじめる前に、よく確認しておいてください。



次ページから記載されている手順に従って、接続を行ってください。

疲れたら途中で休憩してもかまいません。

接続がすべて終わったら、p.48 ~ p.49の接続完成図で、正しく接続されているか確認してみましょう。

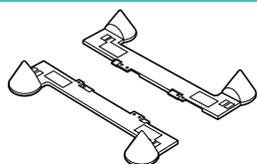
接続の途中で電源スイッチを押さないように注意してください。

パソコン本体に スタビライザを取り付ける



本体を安定させるためにスタビライザ(縦置き用の台)を取り付けましょう。

用意するもの



スタビライザ(2個)

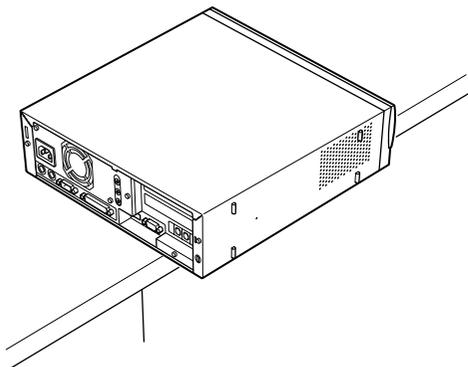


スタビライザ取付け用ネジ(2個)

1

パソコン本体を、底面がはみ出るように、机の端などに置く

その際は、スタビライザの高さの分くらい、はみ出るようにしてください。



パソコン本体を横置きにする場合

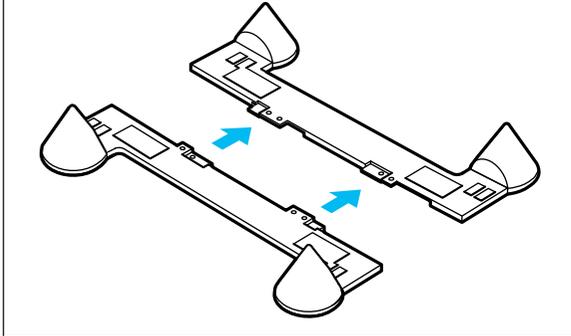
パソコン本体を横置きにする場合は、ゴム足の付いている面(右側面)を下にして置きます。このときは、スタビライザは取り付けません。

パソコン本体を横置きしたときに、本体に載せられるCRTディスプレイなどの最大重量は、約17kgまでです。

2

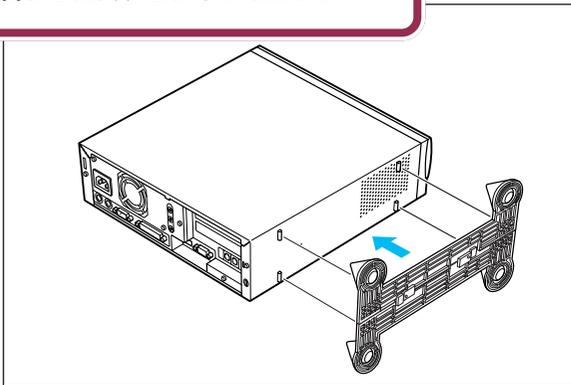
2 つのスタビライザを組み合わせる

スタビライザを組み合わせても固定はされませんので、落とさないように必ず両方を持つようにしてください。



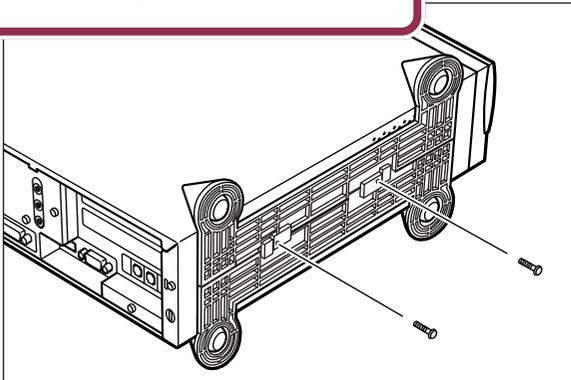
3

パソコン本体の底面の突起に、組み合わせたスタビライザをはめる



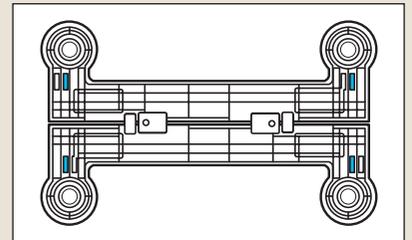
4

スタビライザのネジ穴にスタビライザ取り付け用ネジをはめる



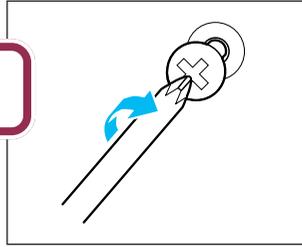
本体にスタビライザをはめたら、落ちないように片手で押さえてください。

図の青い部分に本体底面の突起がはまります。



5

ネジを右へ回して取りつける



ネジは必ず添付されているものを使ってください。またドライバーはネジに合ったものをお使いください。合わないドライバーを使って無理にネジを回すと、ネジが壊れることがあります。

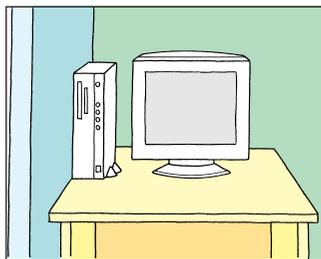
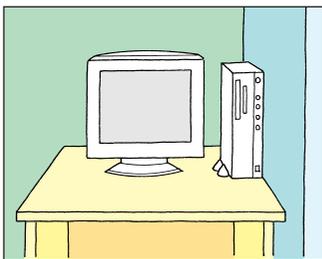
6

パソコン本体を持ち静かに縦に置く



片方だけスタビライザを取り付ける

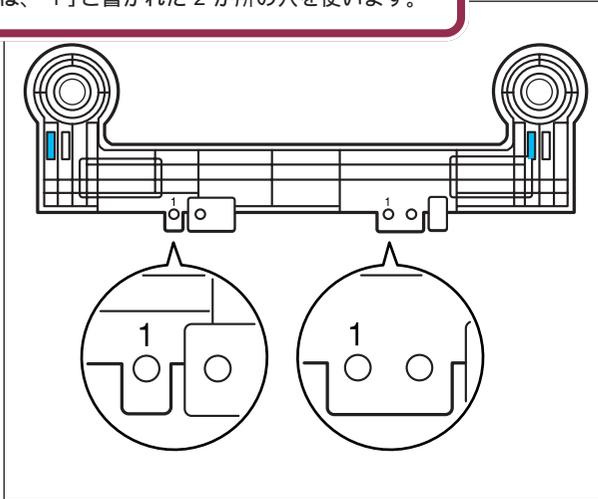
下のイラストのように、スタビライザを片方だけ取り付けることで、壁などの安定した場所に接して置くこともできます。



1

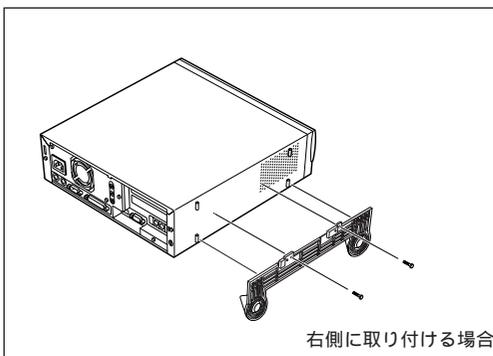
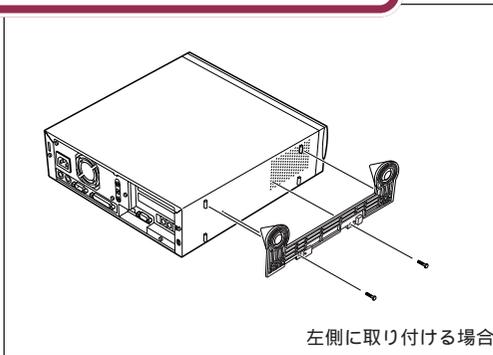
パソコン本体底面の突起がはまる位置と、ネジ穴の場所を確認する

青い部分に本体底面の突起がはまります。ネジ穴は、「1」と書かれた2か所の穴を使います。



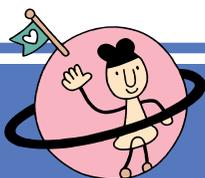
2

パソコン本体底面の突起にスタビライザを片方だけはめて、2本のネジで取り付ける



どちらのスタビライザを使用しても同じです。

キーボードを 接続する



液晶ディスプレイセットモデルの場合は液晶ディスプレイに、CRTディスプレイセットモデルの場合は本体背面に、キーボードを接続します。

用語

キーボード

パソコンで文字や数字を書くための道具です。キーボードの一面に並んでいる押しボタンのことを「キー」と呼びます。いまはまだ、それぞれのキーの意味や働きについて気にする必要はありません。

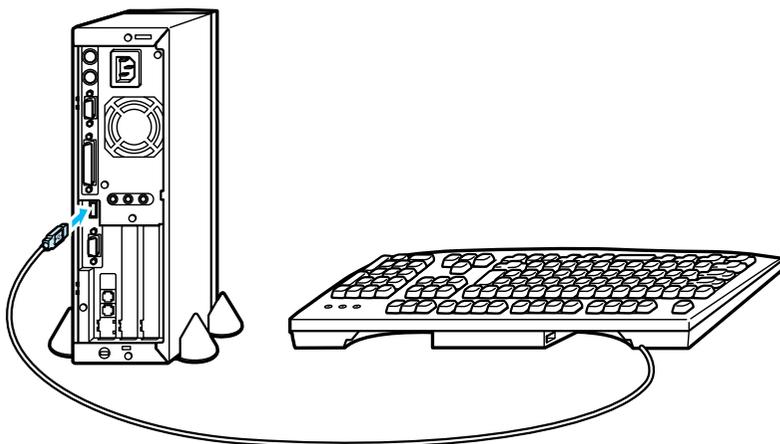
モデルによって、キーボードの接続のしかたは異なります。モデルを確認して、あてはまるページへ進んでください。

液晶ディスプレイセットモデルの場合は、
p.25 に進む

CRTディスプレイセットモデルの場合は、
このページから始める

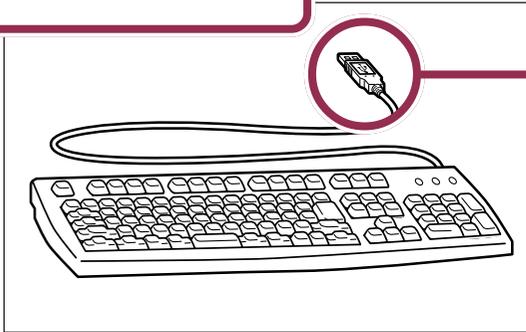
キーボードを接続する(CRTディスプレイセットモデルの場合)

キーボードの接続のしかた



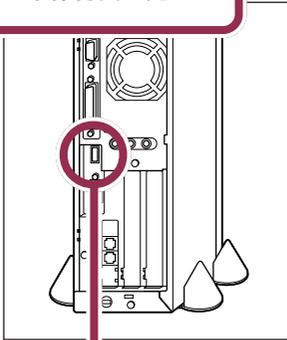
キーボードのケーブルを本体に接続します。
詳しくは次の手順をご覧ください。

1 キーボードのプラグを持つ

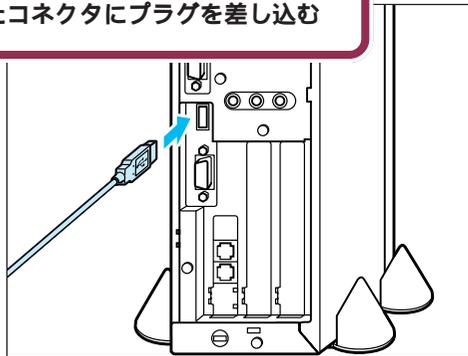


2 の見えるほうが
右になるようにする

3 本体背面を見る



4 の付いたコネクタにプラグを差し込む



の付いた面を右側にして差し込む

✓チェック!!

キーボードのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れなくてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。

前面のコネクタにも接続できる

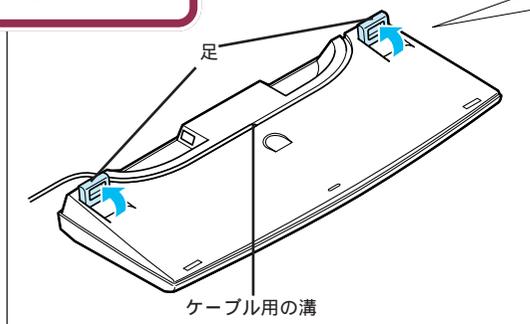
キーボードを接続するコネクタは、パソコン本体の前面(右下)にもあります。こちらのコネクタも、同じように利用できます。前面のコネクタに接続するときは、の見える方を左に向けます。

キーボードの足を立てる

キーボードの足を立てると、キーボードをしっかり安定するだけでなく、長時間キーを打っても、疲れにくくなります。

1

キーボードを裏返し、
足(2カ所)を立てる

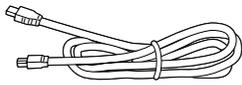


キーボードは足を立てずに使用することもできます。その場合、キーボードのケーブルを「ケーブル用の溝」に押し込むと、安定します。

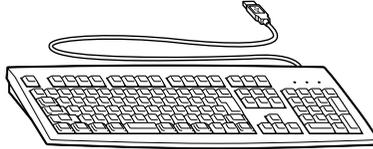
「マウスを接続する」(p.29)へ進む

キーボードを接続する(液晶ディスプレイセットモデルの場合)

用意するもの

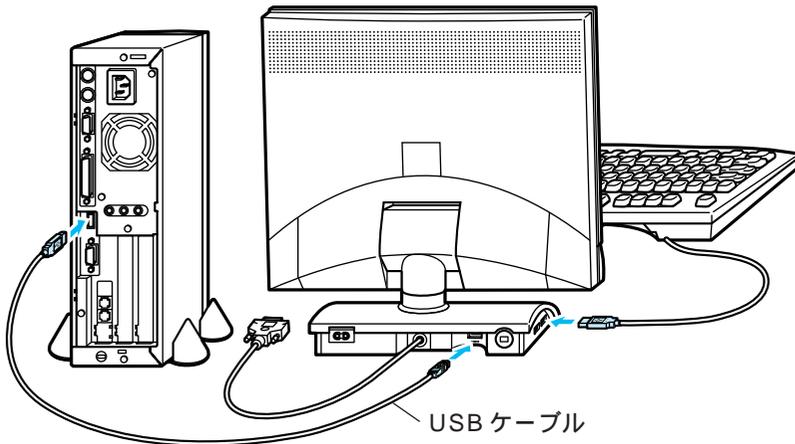


USB ケーブル
(USB ケーブルは液晶ディスプレイの梱包箱の中に入っています)



キーボード

キーボードの接続のしかた



USBケーブルで本体と液晶ディスプレイを接続し、キーボードを液晶ディスプレイに接続します。
詳しくは次の手順をご覧ください。

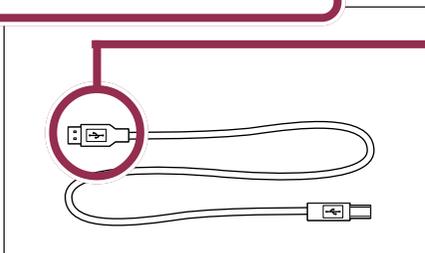
用語

USB

パソコンと周辺機器をつなぐインターフェイスのひとつです。パソコン本体に接続したUSB対応機器に、さらにUSB対応機器を接続するといった使い方もできます。

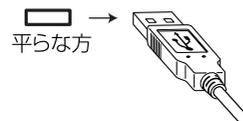
1

USB ケーブルを確認する



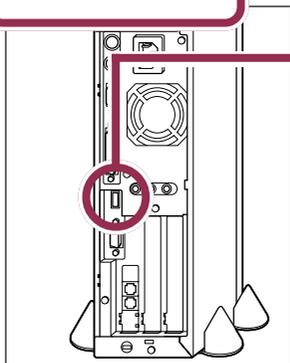
2

差し込み口が平らな方のプラグを持つ



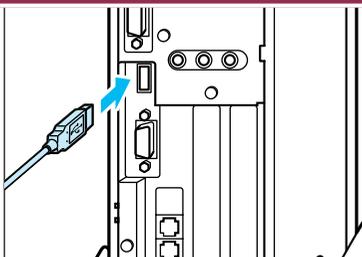
3

本体背面を見る



4

の付いたコネクタにプラグを差し込む



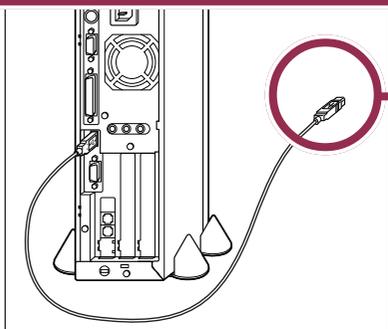
の付いた面を右側にして差し込む

✓ **チェック!!**

USBケーブルのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れなくてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。

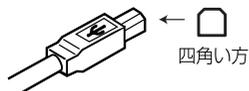
5

USBケーブルのもう一方のプラグを確認する



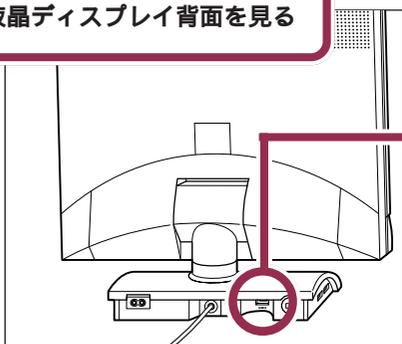
6

差し込み口が四角い方のプラグを持つ



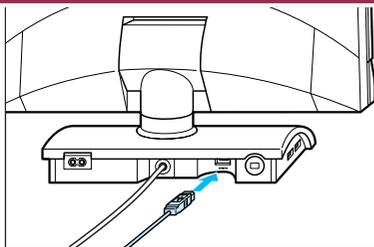
7

液晶ディスプレイ背面を見る



8

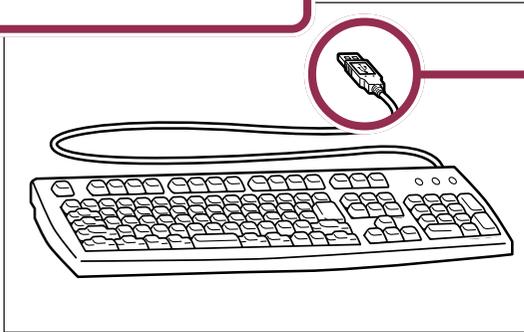
の付いたコネクタにプラグを差し込む



のついた面を上側にして差し込む

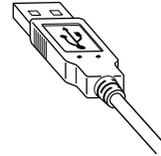
9

キーボードのプラグを持つ



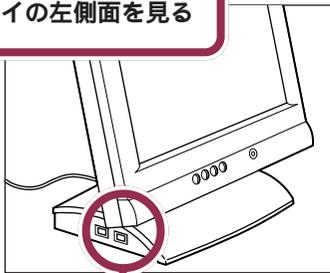
10

☞の見えるほうが
上になるようにする



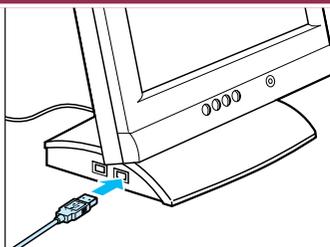
11

液晶ディスプレイの左側面を見る



12

☞の付いたコネクタにプラグを差し込む



☞の付いた面を上側にして差し込む

**ディスプレイ用電源ケーブルは、
まだ接続しないでください。**



電話回線などを先に接続する必要があります。
ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このマニュアルの「ディスプレイ用電源ケーブルを接続する(液晶ディスプレイセットモデルの場合)」(p.45)をご覧ください。

液晶ディスプレイの側面には、☞の付いたコネクタが2つあります。キーボードの操作がやりやすいほうのコネクタを選んで接続してください。

✓チェック!!

キーボードのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れなくてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(上下の向き)を確認してください。

パソコン本体のコネクタにも接続できる

キーボードを接続するコネクタは、パソコン本体の前面と背面にもあります。こちらのコネクタも、同じように利用できます。前面に接続する場合は☞を左側に、背面に接続する場合は☞を右側に向けます。

📖参照

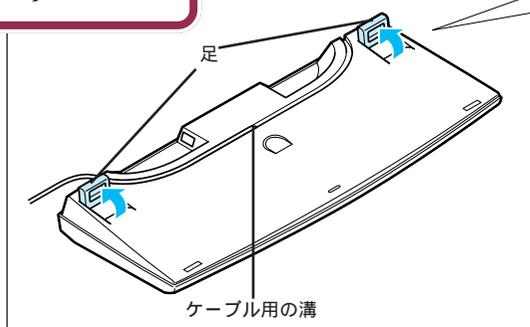
パソコン本体のコネクタの位置『リファレンス』付録の「本体の各部の名称(コンパクトタイプ)」

キーボードの足を立てる

キーボードの足を立てると、キーボードをしっかり安定するだけでなく、長時間キーを打っても、疲れにくくなります。

1

キーボードを裏返し、
足(2カ所)を立てる



キーボードは足を立てずに使用することもできます。その場合、キーボードのケーブルを「ケーブル用の溝」に押し込むと、安定します。

マウスを接続する



キーボードの裏側にマウスを接続します。今度も、プラグの向きに注意してください。

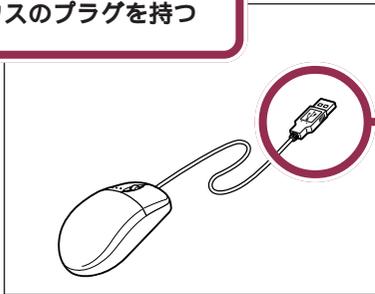
用語

マウス

パソコンを操作するための道具です。パソコンの画面に出てくるボタンを押したりするときに使います。机の上で動かして使う小さな道具で、ケーブルがしっぽのように見えるところから、マウス(ねずみ)と呼ばれます。

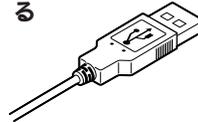
1

マウスのプラグを持つ



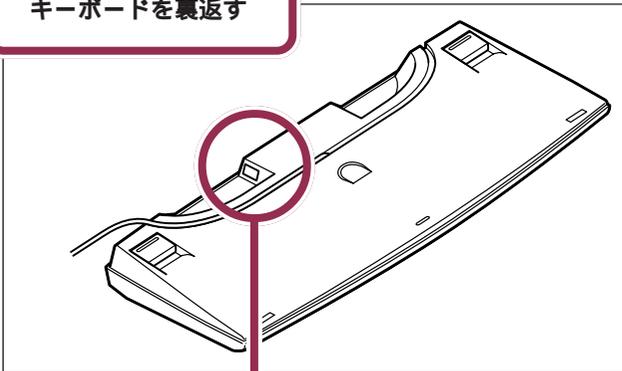
2

マウスのプラグの向きが上になるようにする



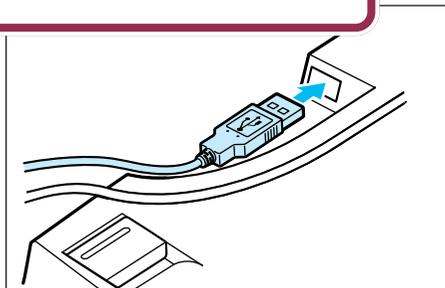
3

キーボードを裏返す



4

キーボード裏側のマウスのプラグの向きが上になるようにする



キーボード底面には、マウスのプラグの付いたコネクタが2つあります。マウスの操作がやりやすい方のコネクタを選んで接続してください。

チェック!!

マウスのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れなくてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(上下の向き)を確認してください。

ディスプレイを 接続する



ディスプレイのケーブルを、本体背面に接続します。プラグのネジを回して固定する必要があります。

用語

ディスプレイ

パソコンの画面を表示する道具です。「モニター」と呼ばれることもあります。テレビのような形をしています。絵や文字を表示するための信号はパソコンから受け取っているので、ディスプレイだけでは何も見ることはできません。

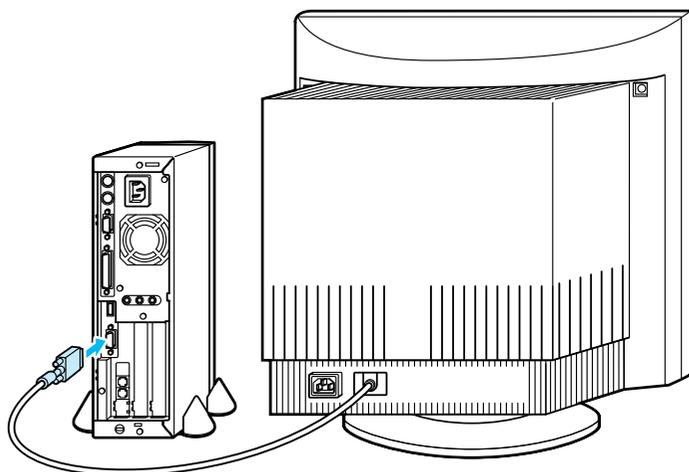
モデルによって、ディスプレイの接続のしかたは異なります。モデルを確認して、あてはまるページへ進んでください。

液晶ディスプレイセットモデルの場合は、
p.33 に進む

CRT ディスプレイセットモデルの場合は、
このページから始める

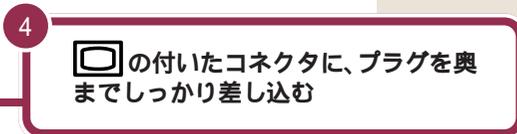
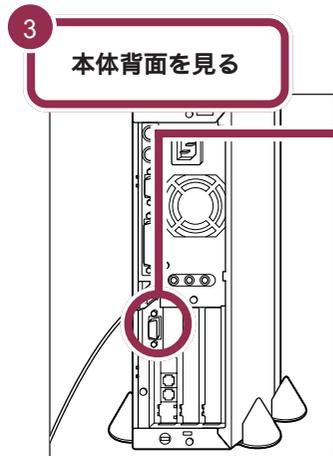
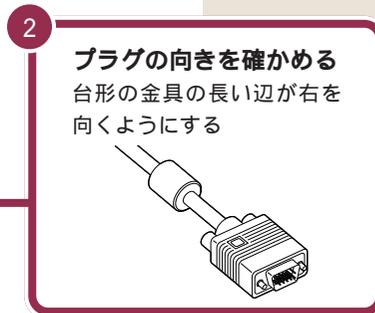
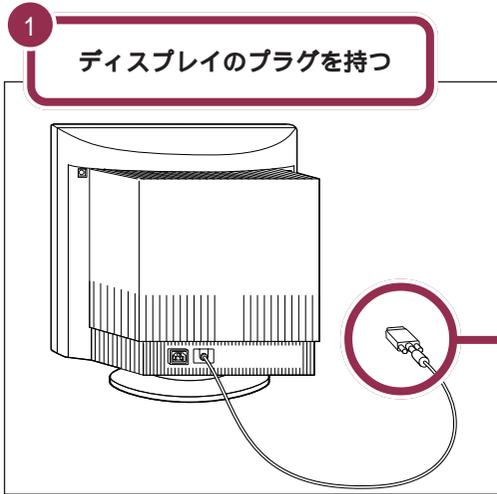
ディスプレイを接続する(CRT ディスプレイセットモデルの場合)

ディスプレイの接続のしかた



ディスプレイのケーブルを本体に接続します。プラグのネジを右に回してしっかり固定します。

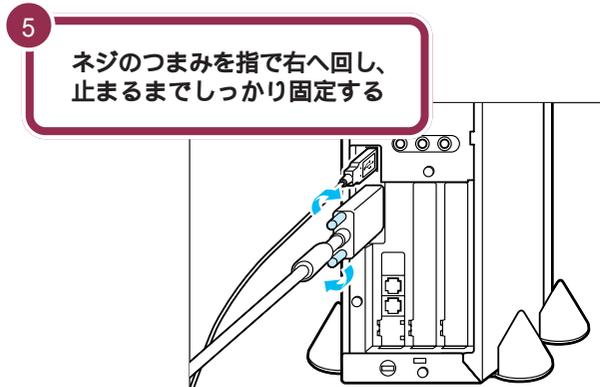
詳しくは次の手順をご覧ください。



台形の金具の長い辺が右側になる
ように差し込む

✓チェック!!

プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。



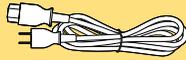
✓チェック!!

ディスプレイのプラグは、奥までしっかり差し込んでください。差し込み方が浅い場合、うまくネジ止めできないことがあります。

✓チェック!!

プラグのネジは、両方均等に力を加えながら締めてください。片方だけ締めると、接続不良になることがあります。

**ディスプレイ用電源ケーブルは、
まだ接続しないでください。**

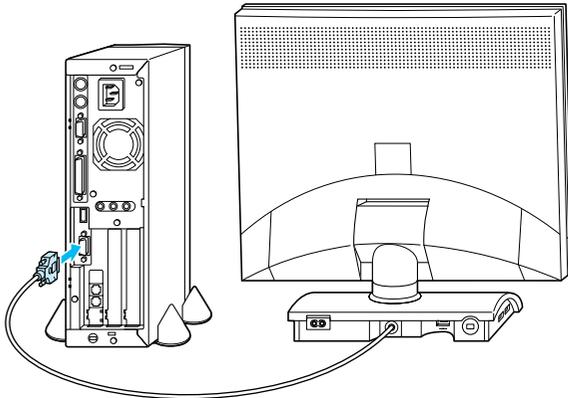


スピーカや電話回線などを先に接続する必要があります。
ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このマニュアルの「ディスプレイ用電源ケーブルを接続する(CRTディスプレイセットモデルの場合)」(p.44)をご覧ください。

「スピーカを接続する」(p.35)に進む

ディスプレイを接続する(液晶ディスプレイセットモデルの場合)

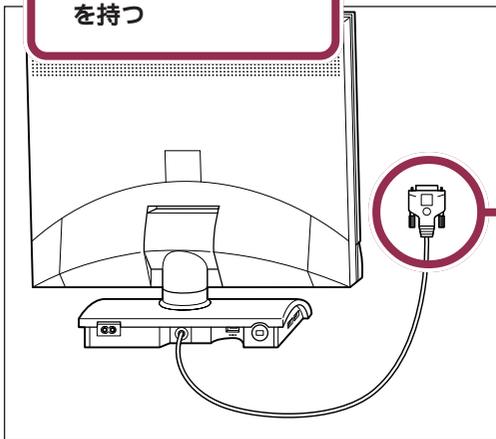
ディスプレイの接続のしかた



ディスプレイのケーブルを本体に接続します。プラグのネジを右に回してしっかり固定します。
詳しくは次の手順をご覧ください。

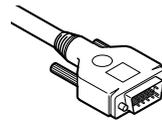
1

ディスプレイのプラグを持つ



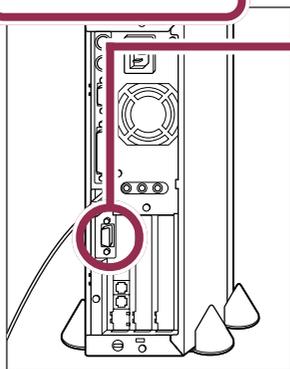
2

プラグの向きを確かめる
差し込むときに、台形の金具の長い辺が右を向くようにする



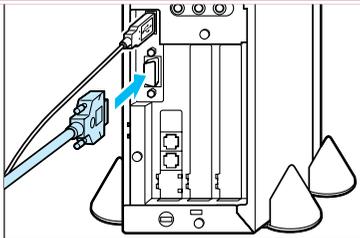
3

本体背面を見る



4

☐の付いたコネクタに、プラグを奥までしっかり差し込む



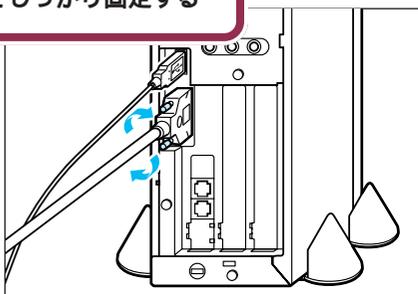
台形の金具の長い辺が右側になるように差し込む

✓ **チェック!!**

プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。

5

ネジのつまみを指で右へ回し、止まるまでしっかり固定する



✓ **チェック!!**

ディスプレイのプラグは、奥までしっかり差し込んでください。差し込み方が浅い場合、うまくネジ止めできないことがあります。

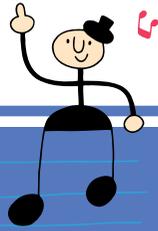
✓ **チェック!!**

プラグのネジは、左右均等に力を加えながら締めてください。片方だけ締めると、接続不良になることがあります。

ディスプレイ用電源ケーブルは、まだ接続しないでください。



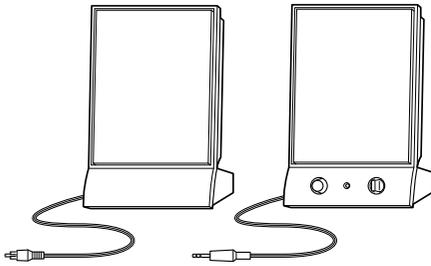
スピーカーや電話回線などを先に接続する必要があります。ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このマニュアルの「ディスプレイ用電源ケーブルを接続する(液晶ディスプレイセットモデルの場合)」(p.45)をご覧ください。



スピーカを接続する

スピーカから出ているケーブルの端(プラグ)をパソコン本体の背面にある LINE OUT 端子に接続します。

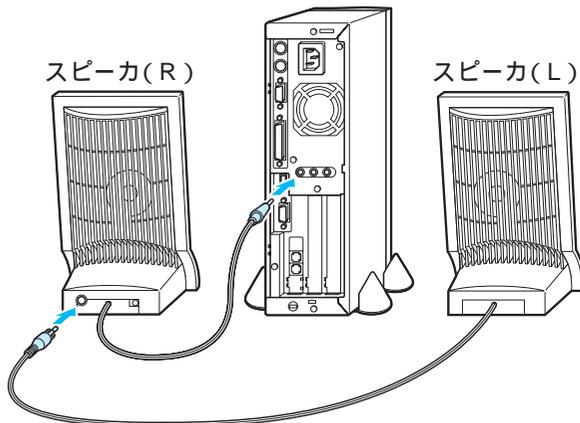
用意するもの



スピーカ(L) スピーカ(R)

電源スイッチやボリュームのついている方が、スピーカ(R)です。
もう一方が、スピーカ(L)です。

スピーカの接続のしかた



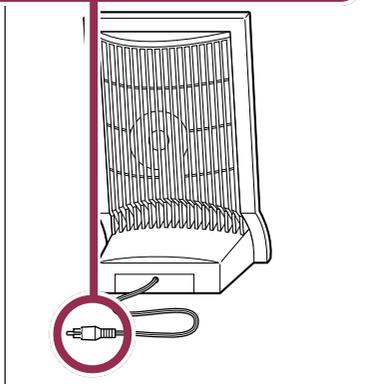
スピーカ(L)のケーブルをスピーカ(R)に接続し、スピーカ(R)のケーブルを本体に接続します。

詳しくは次の手順をご覧ください。

左右のスピーカを接続する

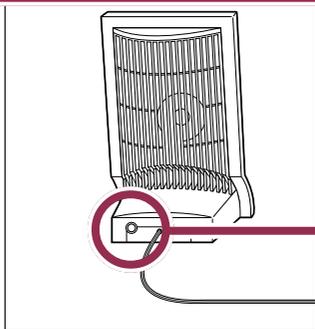
1

スピーカ(L)のプラグを持つ



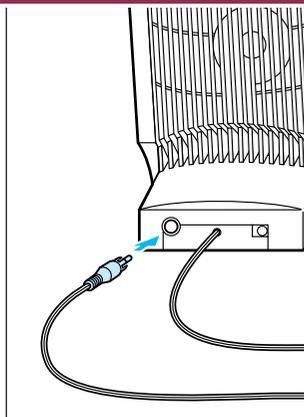
2

スピーカ(R)の背面を見る



3

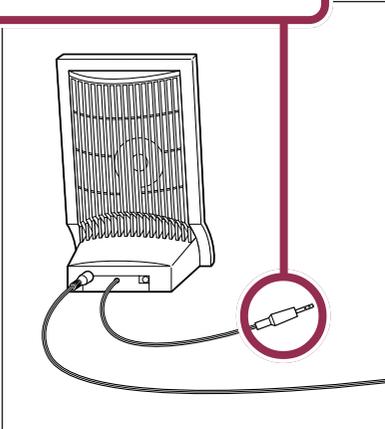
🔊の付いたコネクタに、スピーカ(L)のプラグを差し込む



スピーカをパソコン本体に接続する

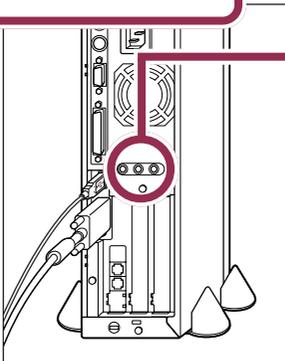
1

スピーカ(R)のプラグを持つ



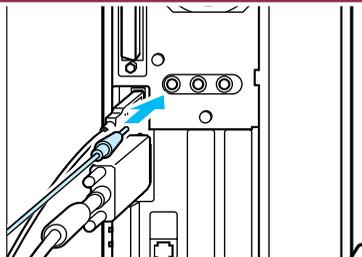
2

本体背面を見る



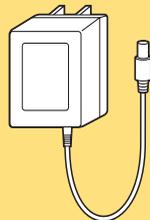
3

スピーカ(R)のプラグを(Ⓜ)の付いたコネクタ
(3つのコネクタのうちいちばん左)に差し込む



**スピーカの AC アダプタは、
まだ接続しないでください。**

電話回線などを先に接続する必要があります。
スピーカの AC アダプタを接続する場合はこの
マニュアルの「スピーカの AC アダプタを接続
する」(p.46)をご覧ください。



電話回線に接続する



インターネットを利用する場合や、このパソコンでFAXを送ったりする場合には、電話回線に接続する必要があります。最初に、いまお使いの電話機を取り外してからパソコンにつなぎ換えます。次に、パソコンを直接電話回線に接続します。この操作を行っても、電話機は今まで通り使えます。

インターネットやパソコンを使ったFAXの送受信などを利用しない場合、電話回線に接続する必要はありません。

⚠ 注意



感電注意

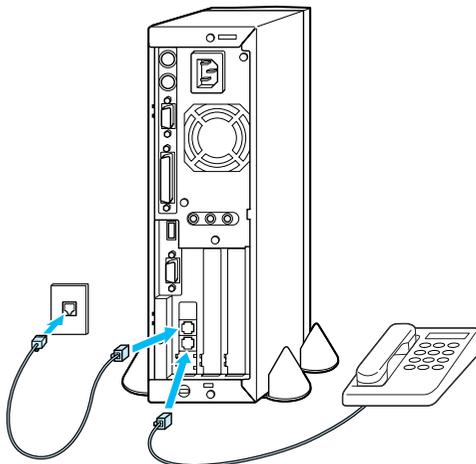
モジュラーケーブル(電話線)の取り外しや接続を行うときは、プラグの端子部分に触れないでください。感電の原因となります。

用意するもの



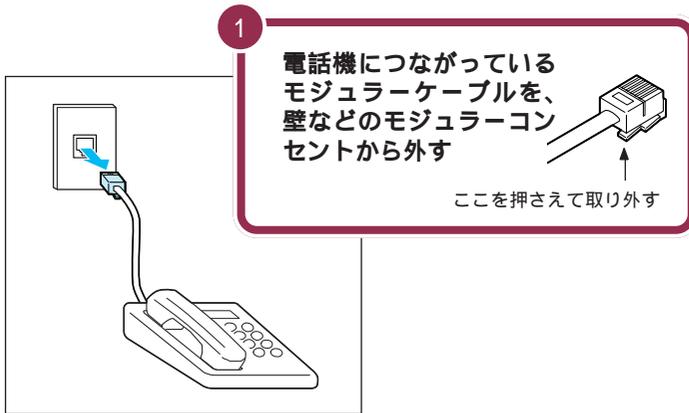
モジュラーケーブル

電話回線の接続のしかた



電話機のケーブルをモジュラーコンセントから外して本体に接続します。次に、添付のモジュラーケーブルを使って、本体とモジュラーコンセントを接続します。詳しくは次の手順をご覧ください。

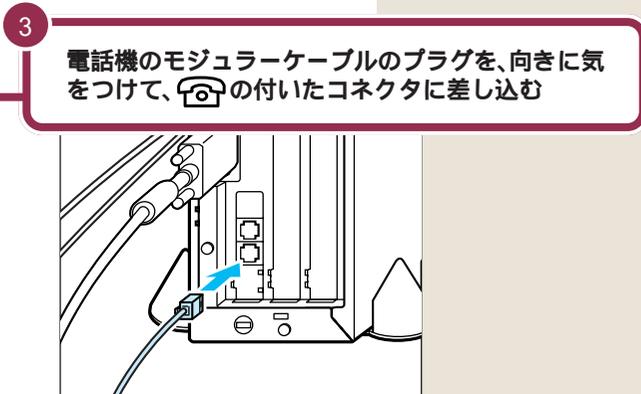
電話機をパソコンにつなぐ



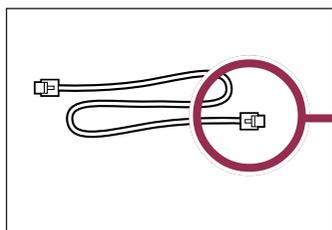
モジュラーケーブル(電話線)のプラグには、上下のどちらかにツメが付いています。このツメを指でつまんで押さえるようにすると、簡単に抜くことができます。

✓ チェック!!

電話機のモジュラーケーブルを取り外すと、パソコンを電話回線に接続するまでの間、電話機は使用できなくなります。



パソコンを電話回線につなぐ

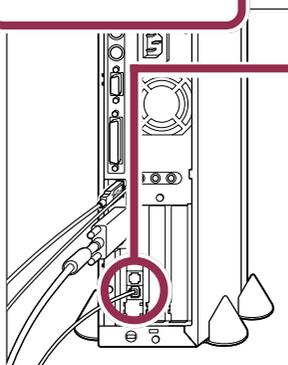


1

添付のモジュラーケーブルのプラグを持つ
どちらのプラグでも構いません。

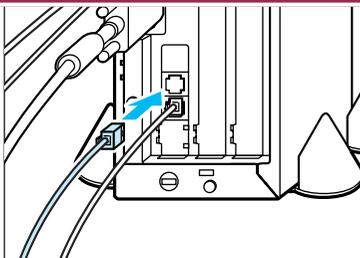
2

本体背面を見る



3

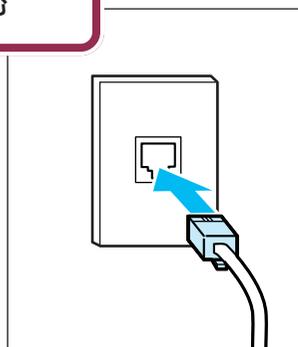
プラグの向きに気をつけて、の付いたコネクタに
差し込む



パソコンを電話回線に接続すると、電話機はこれまで通り使うことができます。パソコンの電源が入っていてもいなくても関係ありません。

4

もう一方のプラグを壁
などのモジュラーコン
セントに差し込む



✓チェック!!

パソコンと電話回線をつなぐモジュラーケーブルや、電話機とパソコンをつなぐモジュラーケーブルは、人の通る場所を避けて配線してください。うまく配線できないときは、お近くの電話工事店やパソコンのご購入元などにご相談ください。



アースを接続する

パソコン本体の背面にあるアース端子のネジをゆるめて、アース線の端子を取り付けます。それからコンセントのアース端子に接続します。

⚠ 注意



発火注意

アース線は、絶対にガス管につながないでください。火災の原因になります。



感電注意

アース線の接続や取り外しを行うときは、必ず本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

感電の原因になります。



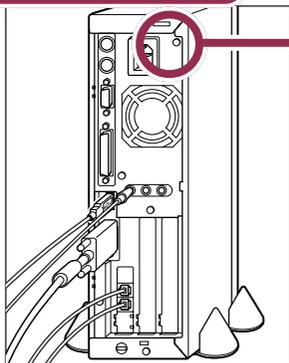
用意するもの



アース線（緑色の電線です。）

1

本体背面を見る



2

⊕の付いたネジをゆるめる



用語

アース線

感電を防止するための電線です。パソコンのアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

ドライバーはネジに合ったものをお使いください。合わないドライバーを使って無理にネジを回すと、ネジが壊れることがあります。

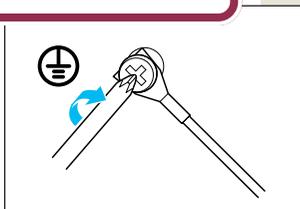
3

アース線の端子を
すき間に差し込む



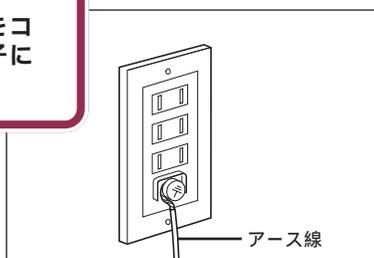
4

ネジをしめる



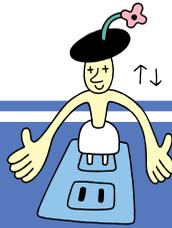
5

アース線のもう一方をコ
ンセントのアース端子に
接続する



✓ チェック!!

- ・ アース線は水道管につながないでください。アースできない場合があります。
- ・ アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。
- ・ アース端子付きのコンセントが利用できない場合には、お近くの電気店など電気工事士の資格を持つ人にアース端子付きコンセントの取り付けをご相談ください。



電源ケーブルを 接続する

添付品の接続が終わったら、電源ケーブルを接続しましょう。最初にディスプレイの電源ケーブルを、つづいてスピーカのACアダプタを接続します。最後にパソコン本体の電源ケーブルを接続します。

⚠ 注意



感電注意

濡れた手で電源ケーブルのプラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。



発火注意

タコ足配線にしないでください。

タコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。



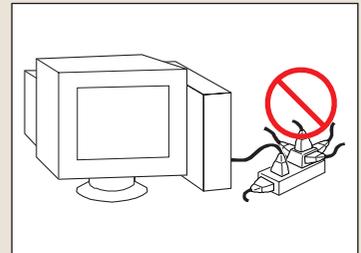
感電注意

電源ケーブルの上には、絶対に重いものをのせないでください。

ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因になります。

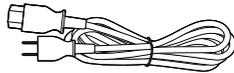


発火注意



用意するもの

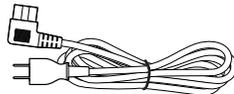
ディスプレイ用電源ケーブルは、ディスプレイの箱に入っていたものをお使いください。



CRTディスプレイ用電源ケーブル



プラグの形状



液晶ディスプレイ用電源ケーブル



プラグの形状

パソコン本体用電源ケーブルは、パソコンに添付のものをお使いください。



パソコン本体用電源ケーブル



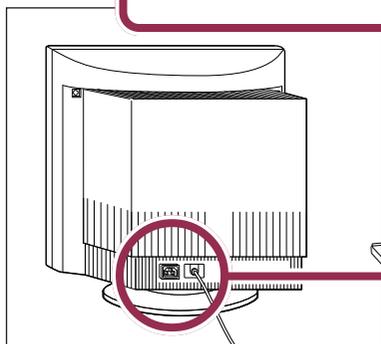
プラグの形状

別売のディスプレイをお使いの場合は、ケーブルの形状は異なることがあります。

ディスプレイ用電源ケーブルを接続する(CRTディスプレイセットモデルの場合)

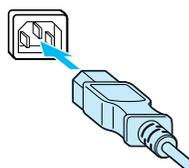
1

ディスプレイの背面を見る



2

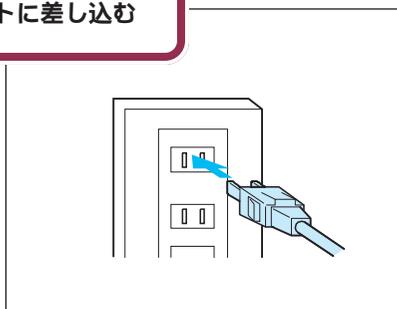
ディスプレイ用電源ケーブルの片方の端を、奥までしっかり差し込む



ディスプレイ用電源ケーブルは、ディスプレイと一緒に箱に入っていたものをお使いください。

3

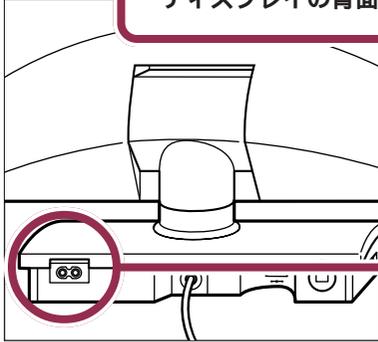
電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む



ディスプレイ用電源ケーブルを接続する(液晶ディスプレイセットモデルの場合)

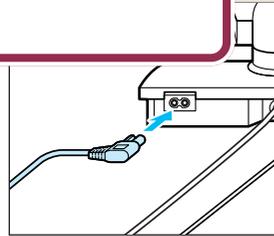
1

ディスプレイの背面を見る



2

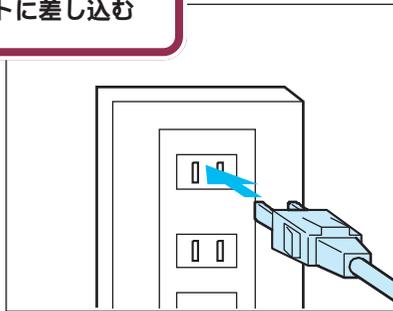
ディスプレイ用電源ケーブルの片方の端を、奥までしっかり差し込む



ディスプレイ用電源ケーブルは、ディスプレイと一緒に箱に入っていたものをお使いください。

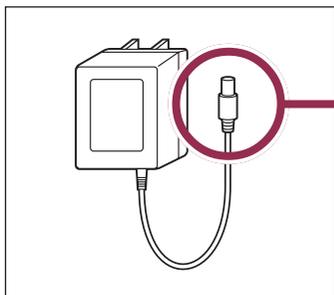
3

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む



スピーカの AC アダプタを接続する

スピーカに、AC アダプタを接続します。

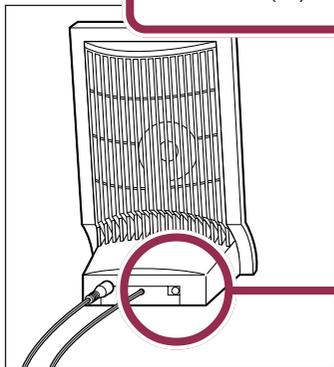


1

AC アダプタの
プラグを持つ

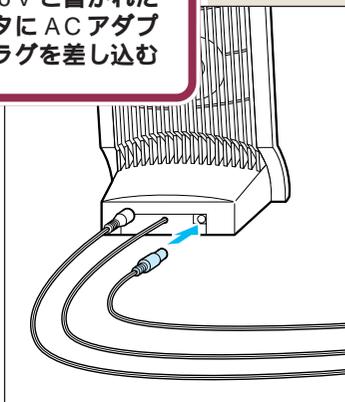
2

スピーカ(R)の背面を見る



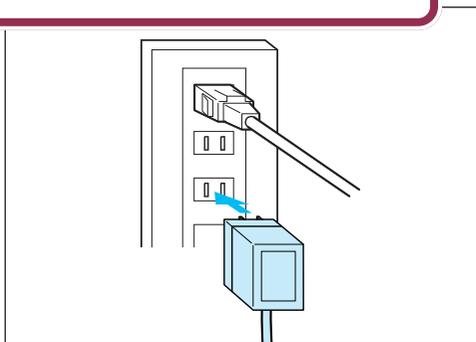
3

DC IN6V と書かれた
コネクタに AC アダプ
タのプラグを差し込む



4

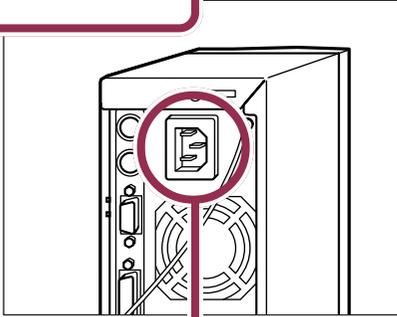
AC アダプタを壁などのコンセントに
差し込む



パソコン本体の電源ケーブルを接続する

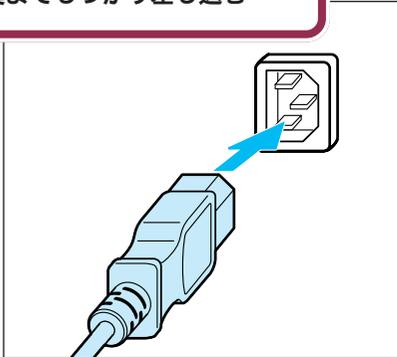
1

本体背面を見る



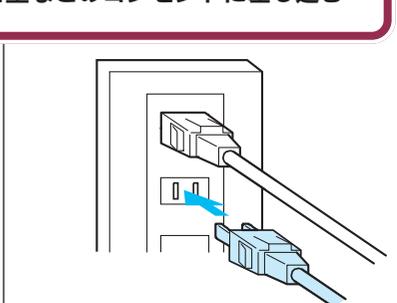
2

電源ケーブルの片方の端を、奥までしっかり差し込む



3

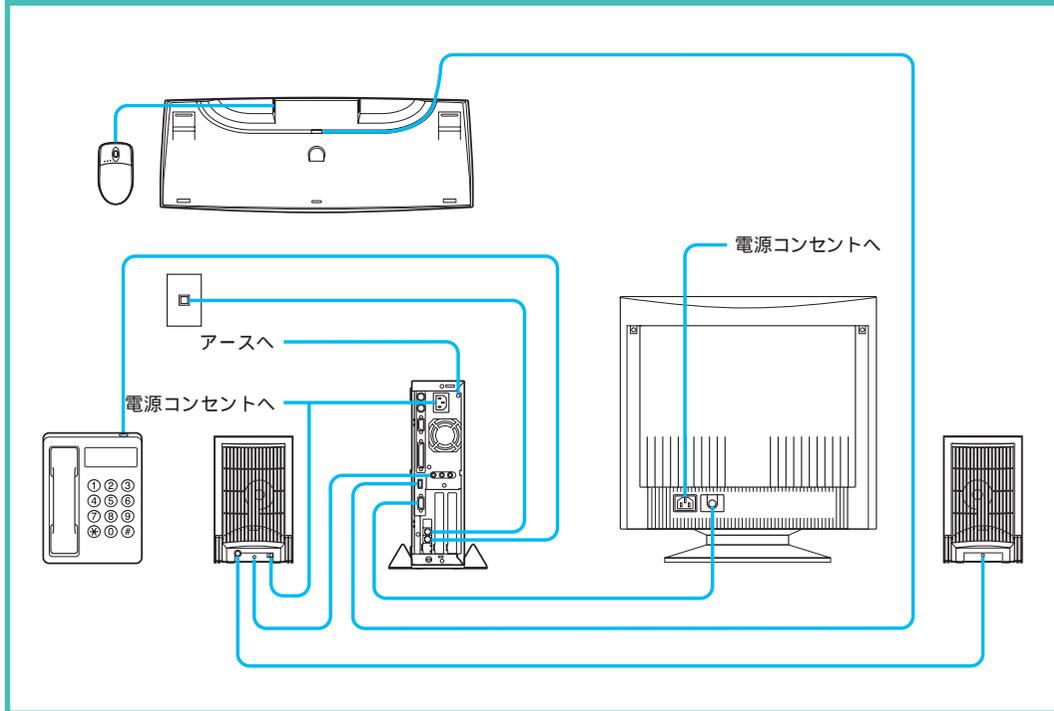
電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む



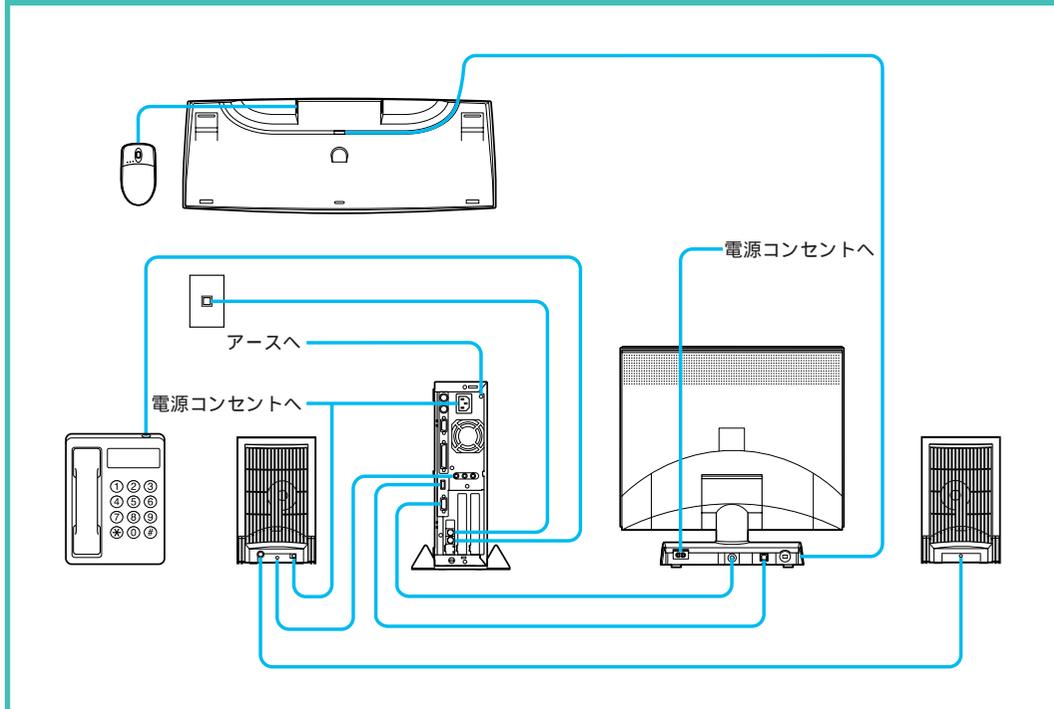
これで接続は完了です。

電源ケーブルは、パソコン本体の添付品収納箱に入っていたものをお使いください。

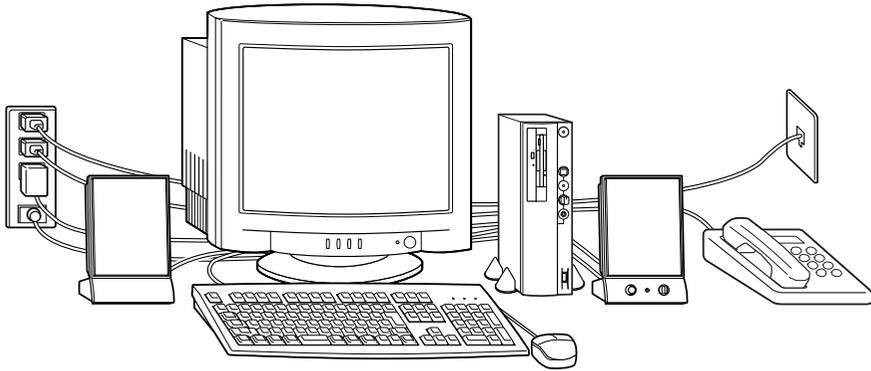
接続完成図(背面) CRTディスプレイセットモデルの場合



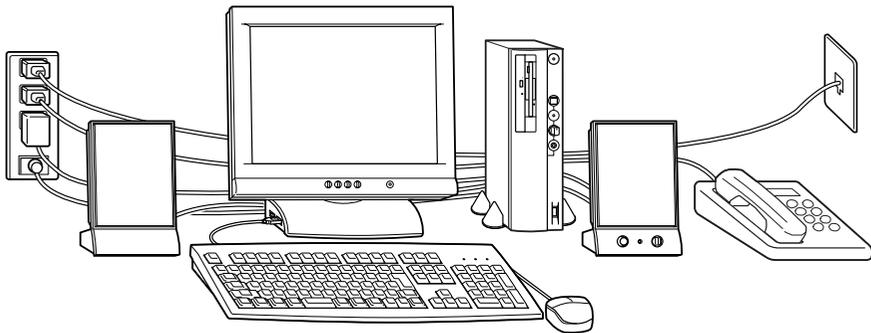
接続完成図(背面) 液晶ディスプレイセットモデルの場合



接続完成図(前面) CRTディスプレイセットモデルの場合



接続完成図(前面) 液晶ディスプレイセットモデルの場合



まだ、電源スイッチを押さないでください。

電源スイッチを入れる操作については、このあとのPART3「電源を入れてパソコンを使えるようにする」で説明しています。

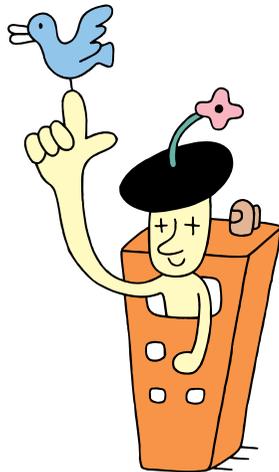
✓チェック!!

電源ケーブル、電話回線の接続に使ったモジュラーケーブルなどが、人の通る場所がないことを再確認してください。ケーブルを足に引っかけたりすると、パソコンの故障の原因になるだけでなく、思わぬけがをすることもあります。

3

電源を入れて パソコンを使えるようにする

パソコンの接続は終わっていますね。それでは、いよいよ電源を入れます。最初に電源を入れるときは、自分の名前などを登録するセットアップ作業が必要です。この作業が終わらないと、パソコンは使えるようになりません。このあとの説明をよく読んで、ゆっくり確実に操作してください。



電源を入れる



ディスプレイ、スピーカ、パソコンの順に電源スイッチを押していきます。電源を入れてから、パソコンを使えるようにするための準備が完了するまで、約30分程度かかります。

1

添付の『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』でプロダクトキーを調べて、このマニュアルの62ページの記入欄にメモしておく



Product Key (プロダクトキー)

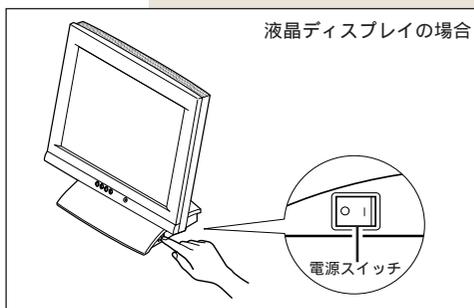
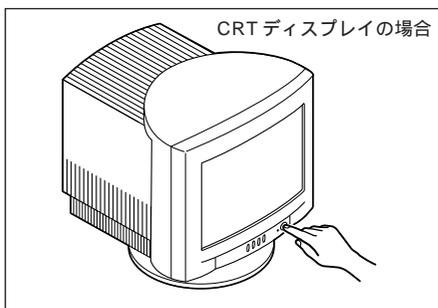
2

パソコンのユーザー名を決めて、58ページの記入欄にローマ字でメモしておく

3

ディスプレイの電源スイッチを押す

ディスプレイの電源ランプが点灯する



電源を入れるには、「|」と書かれた方を押します。

プロダクトキーを調べる

『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』は、このあとの手順で、Windowsのプロダクトキーをパソコンに登録するときに必要になります。添付品収納箱の中から、ビニールに包まれた本を探してください(この本は、そのまま大切にしておきます)。

用語

Product Key

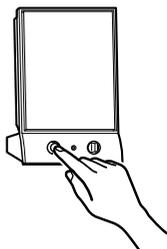
「プロダクトキー」と読みます。パソコンに登録しておくための識別番号のようなもので、1台ごとに別の番号が割り振られます。

ユーザー名について

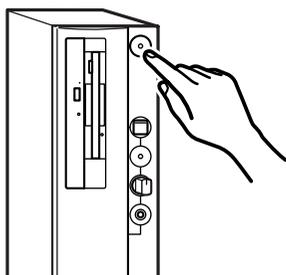
このあとの手順で、キーボードを使って名前を打ち込む必要があります。そのときに迷わないように、いまから決めておきましょう。通常は、ユーザー名とは、あなたの名前のことです。このパソコンを複数のかたが使う場合は、代表になる人の名前が良いでしょう。

4

スピーカの電源スイッチを押す

スピーカの電源ランプ
が点灯する

5

パソコン本体の電源
スイッチを押すパソコン本体の電源ラ
ンプが緑色に点灯する

操作の途中で電源を切らない!!

このPARTの操作がすべて終わるまでに、約30分かかります。p.68の手順が完了するまでは、絶対にパソコン本体の電源スイッチを押さないでください。もちろん、電源ケーブルをいきなり抜いたりしてはいけません。パソコンが使えるようになる前に電源を切ると、故障の原因になります。

6

次の画面が表示されるのを待つ

この度は当社のパーソナルコンピュータをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

Windows98 セットアップでは、次のものが必要となりますので用意しておいてください。

- ・ 『Step1 接続と準備』マニュアル(PART3 『電源を入れてパソコン
を使えるようにする』の部分に従ってセットアップしてください)
- ・ 使用する人の名前(ユーザ情報として名前を登録します)
- ・ 『Windows98 ファーストステップガイド』マニュアル
(表紙に記載されている Product Key を登録します)

<注意>
Windows98 セットアップには約30分かかります。セットアップが完了し
Windows98 が起動するまで、絶対に電源をOFFにしたりしないでください。
Enter キーを押すと、Windows98 セットアップを開始します。

最初の30秒ぐらいは、パソコンが自動的に内部をチェックするので、画面の表示がいろいろ変化します。左の画面が出るまで、何もせずに待つてください。

用語

セットアップ

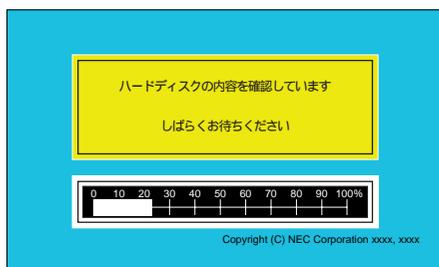
パソコンを使えるようにすることを、セットアップといいます。セットアップが終わると、ワープロ、表計算、ゲーム、インターネットなど、このパソコンの様々な機能が使えるようになります。

7

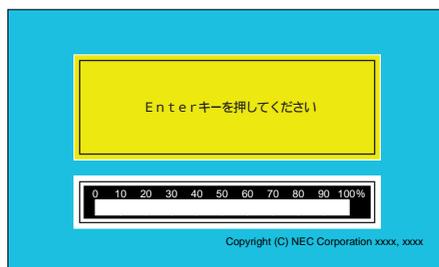
キーボードの  を押す



このような画面が
1分ほど出たあと、



この画面に変わる ↓



8

キーボードの  を押す

約1分ほどで、
この画面に変わる ↓



左の図のように【Enter】は、2カ所にあります。どちらのキーを押しても構いません。

用語

 (Enterキー)

キーボードのキーの中で、一番よく使うキーです。「エンター」と読みます。エンター(Enter)とは、「入れる」という意味。「次に進め」という命令をパソコンに入れるときに押すものが、Enterキーだと思ってください。

左の画面が出るまで、途中で、何度か画面の表示が変化することがありますが、左の画面が出るまで、何もせずに待ってください。

名前を打ち込む



このパソコンをあなたのパソコンとして登録します。それには、画面の中の決められた欄に、ローマ字で名前を打ち込みます。でも、その前にマウスに触れてみましょう。

マウスを動かしてみる

1

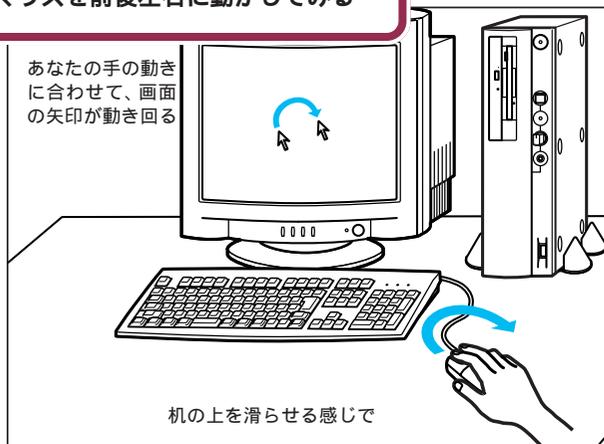
右手でマウスを持つ



手の力を抜いて軽く持つ
前後左右に10cm位のスペースをあける

2

マウスを前後左右に動かしてみる

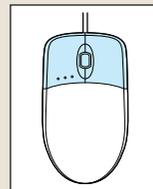


あなたの手の動き
に合わせて、画面
の矢印が動き回る

机の上を滑らせる感じで

✓チェック!!

マウスの上にある3つのボタンは、まだ押さないでください。



マウスを動かすために、マウスの前後左右に10cm位のスペースをあけておいてください。

マウスは、親指と薬指で軽くつかんで机の上を滑らせるように動かします。肩の力を抜いて、手首だけで動かすようにすることがコツです。



ポイント

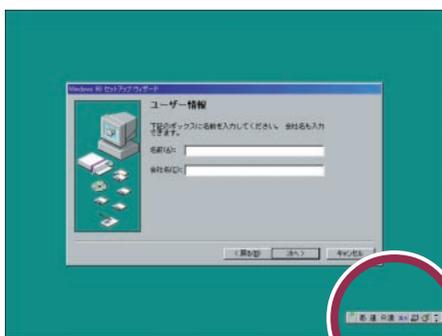
マウスは軽く持って、机の上を滑らすように動かす。
マウスの動きに応じて、画面の矢印が動く。

ローマ字が打てるようにする

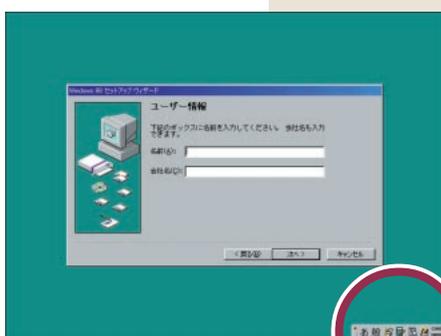
Alt を押したまま、**半角/全角** を押すと、ローマ字(アルファベット)が打てるようになります。

1

画面右下に下の図のような表示があることを確かめる



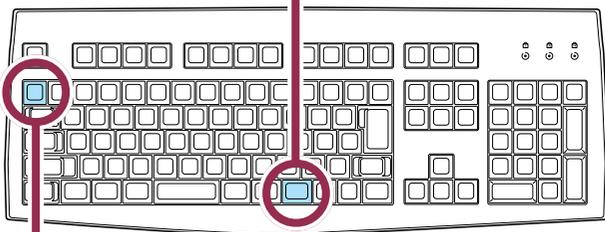
一太郎モデル



Word モデル

2

Alt (オルトキー) を押したまま、



3

半角/全角 (半角 / 全角キー) を 1 回押す

4

Alt (オルトキー) を離す

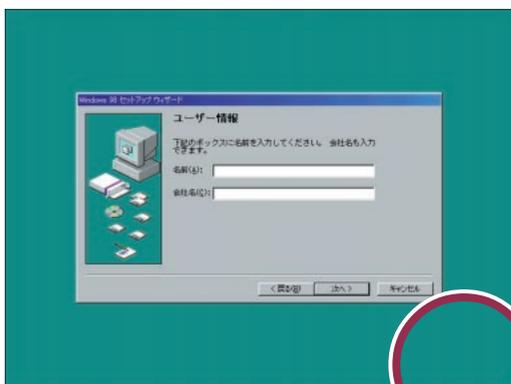


日本語入力に慣れた方へ

すでにパソコンを使って、日本語入力の操作に慣れているなら、ローマ字で名前を入力する必要はありません。自分の名前を入力して「次へ」をクリックしたら、本書の「Windows のプロダクト キーを入れる (p.60) に進んでください。

Alt (オルトキー) は 2 カ所にあります。どちらのキーを押しても同じように使うことができます。

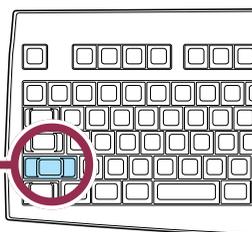
半角/全角 (半角 / 全角キー) は、押し続けしないでください。



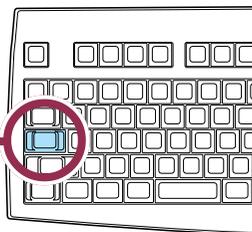
画面右下の表示が消える

⇧Shift を押したまま CapsLock 英数 を押すと、打ちこまれるアルファベットが小文字から大文字に切り替わります。ここでは大文字で名前を打っていきます。

5
⇧Shift (Shift キー) を
押したまま、



6
CapsLock 英数 (CapsLock キー) を 1 回押す



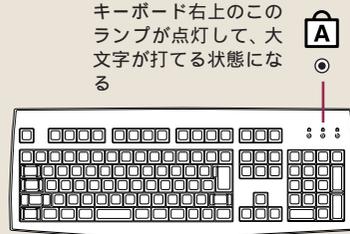
7
⇧Shift (Shift キー) を離す



同じ操作が何度も試せる

手順 2 ~ 4 までの操作は、何度でも試すことができます。同じ操作を繰り返すと、画面右下の表示が出たり消えたりします。一度でうまく画面右下の表示が消えなかった場合も、同じ操作を繰り返してみてください。

キーボード右上のこのランプが点灯して、大文字が打てる状態になる



自分の名前をローマ字で打ち込む

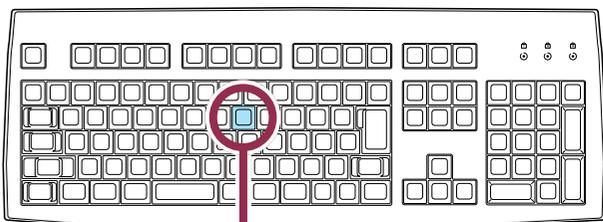
1

下の記入欄でパソコンのユーザー名のローマ字つづりを確認する

ユーザー名記入欄

2

キーボードから最初のアルファベットが書かれたキーを探す



「ICHIROU」の場合なら、「I」のキーはここ
(キーに書かれたひらがなは無視する)

3

その文字キーを押す



同じ文字が続けて打ち込まれたとき (間違った文字が入ったとき)

文字のキーは、押したらすぐに離すことが大切です。キーを押したままにしていると、同じ文字が連続して入ってしまいます。そのときは、右の図のキーを押してください。後ろから文字を消すことができます。文字を間違えて打ったときも、このキーで修正できます。



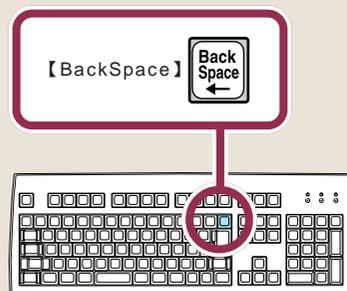
ポイント

文字を間違えたら、【BackSpace】を押して後ろから消していく。

アルファベットは全部大文字で書いてください。普通は名前、苗字の順番ですが、日本式に苗字、名前の順番でもかまいません。

参照

ローマ字のつづりがわからないときは 本書「付録」 「ローマ字つづり一覧」(p.81)



4

同じようにして、自分の名前
をすべて打つ

下記のボックスに名前を入力してください。
できます。

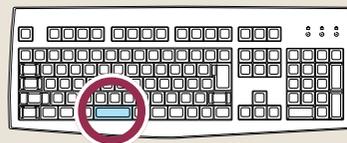
名前(A): [ICHIROU MITA]

「ICHIROU MITA」の場合なら、このようになる

5

自分の名前が入力できたこと
を確認する

苗字と名前の間を空けるときは、下
図のキーを押します。このキーは、空
白(スペース)を空けるときなどに使
うので「スペース」キーと呼びます。



個人で使用する場合、会社名の欄に
は何も入れる必要がありません。会
社で購入した場合などは、会社名の
欄の内側までマウスで矢印を移動し
て、そこで左ボタンを一度押します。
次の図のように、会社名の欄の左端
に「|」が点滅するのを確認してくだ
さい。次に [Alt] (オルトキー) を押し
たまま、[半角/全角] (半角/全角キー) を押し
ます。あとは名前と同じようにアル
ファベットで会社名が打てます。

会社名(D):

「次へ」をクリックする

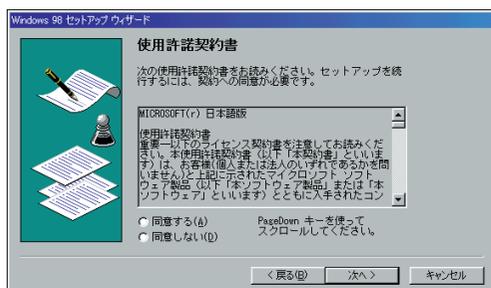
1

「次へ」に矢印を合わせて、マ
ウスの左ボタンを 1 回押す



この四角の内側に矢印の
先端が合っている時
に

マウスの左ボタンを押すと、画
面が変わる



用語

クリック

画面の文字や絵などに矢印を合わ
せ、マウスの左ボタンを 1 回押す
操作を「クリック」といいます。「ク
リック」は、マウスを使うときの最
も基本的な操作方法なので、この
あとの手順でも同じ操作が何度も
出てきます。しっかりマスターし
てください。

Windows の プロダクトキーを入れる

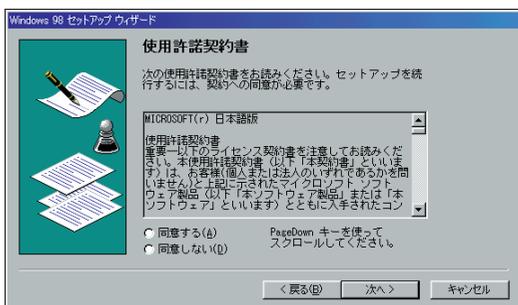


パソコンを使えるようにするための操作を続けましょ
う。手順説明にしたがって、ゆっくり、確実に操作を進
めてください。

使用許諾契約に同意する

1

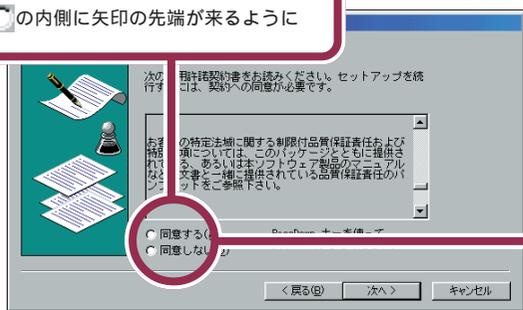
次の画面が表示されてい
ることを確認する



2

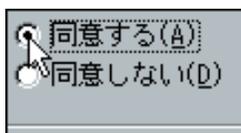
「同意する」の左にある に
矢印を合わせる

の内側に矢印の先端が来るように



3

ここで、クリックする
(マウスの左ボタンを1回押す)

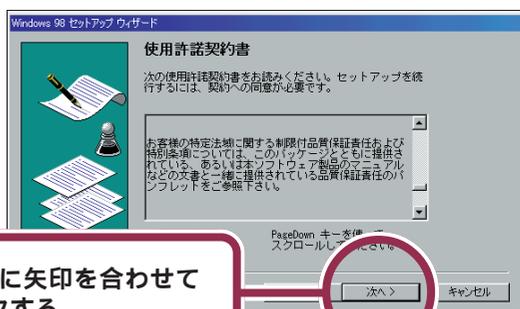


同意する(A) が 同意する(A) になる

使用許諾契約とは？

このパソコンを使えるようにするには、パソコンに入っているソフトウェアを違法にコピーして他人に渡したりしないという契約に同意しなければなりません。同意していただけない場合は、このパソコンを使うことができません。

契約書の文章が表示された欄の右に  があります。この  の上に矢印を合わせてクリックすると、続きを読むことができます。このように画面の内容を動かして、続きを見ることを「スクロール」と呼びます。



4

「次へ」に矢印を合わせてクリックする

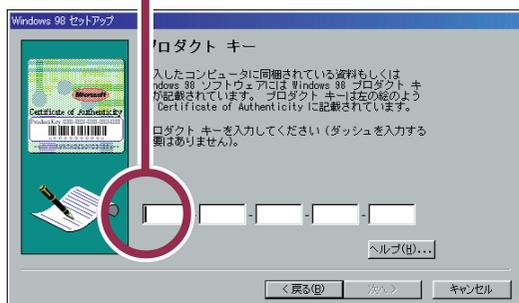
画面が変わる



プロダクト キーを入れる

1

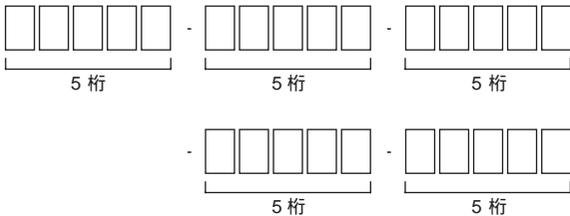
最初の入力欄に「|」が点滅していることを確認する



2

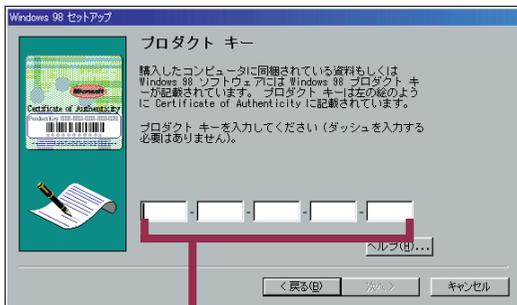
プロダクト キーを確認する

プロダクト キー記入欄



3

名前を入力したときと同様にキーボードを使って、プロダクト キーの先頭の文字から入れていく

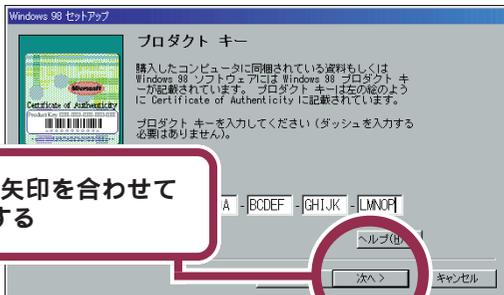


キーボードのキーを押すと、この欄に一文字ずつ入る

4

入力が終わったら、プロダクト キーが正しく入力されているか確認する

画面内のプロダクト キーは仮のものです



5

「次へ」に矢印を合わせてクリックする

次ページの最初の画面に変わる



これがプロダクト キー

文字は続けて打つ

画面には 5 つの入力欄がありますが、文字を入れていくと、自動的に次の欄に文字が入っていきます。

「 - (ダッシュ) 」は、入れる必要がありません。

打ち込んだ文字に間違いがあったら

【BackSpace】を押すと、後ろから文字が一文字ずつ消えていきます。間違いのあった所まで後ろから消していき、そこから正しい文字を入れ直してください。

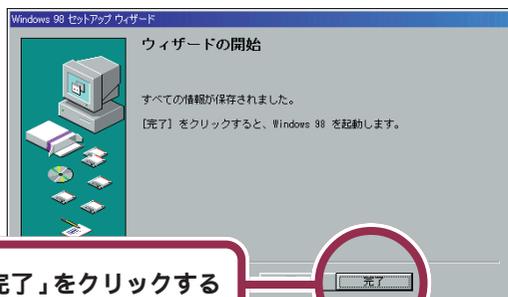
キーボードを使ってプロダクト キーがうまく入力できない方のために「キーボード ヘルパ機能」があります。詳しくは、付録の「プロダクト キーの入力がうまくいかないときは」(p.79)をご覧ください。

「入力されたプロダクト キーは無効」と表示されたら

プロダクト キーを入れ間違えて、「次へ」をクリックすると、「入力されたプロダクト キーは無効です」という画面が表示されます。「OK」をクリックすると、再度プロダクト キーを入れる画面に戻ります。

まず、『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』の表紙を見て、画面に表示されているプロダクト キーが正しいかどうか確認してください。間違っていたら、文字を間違えた欄の右端に矢印の先端を合わせ、クリックします。そのあと【BackSpace】を押して、後ろから文字を消していき、正しい文字を打ち直してから、もう一度「次へ」をクリックしてください。

残りの手順を進める



1

「完了」をクリックする

四角の内側に矢印の先端が来るように

2

「Windows 98へようこそ」の画面が出るまで待つ

パソコンの操作はあわてずに！

ここまでにも、【Enter】を押したりマウスをクリックしたあと、画面が次に切り替わるまで、少し時間がかかったことがありました。これは、パソコンの内部で設定などの準備処理が行われているためです。⌚が出ているときは、キーを押したり、マウスのボタンを何度もクリックしたりしないようにしてください。



ポイント

⌚(砂時計)が出ているときは、パソコンが内部で処理を行っている。このマークが出ている間は、何も操作せずに待つ。

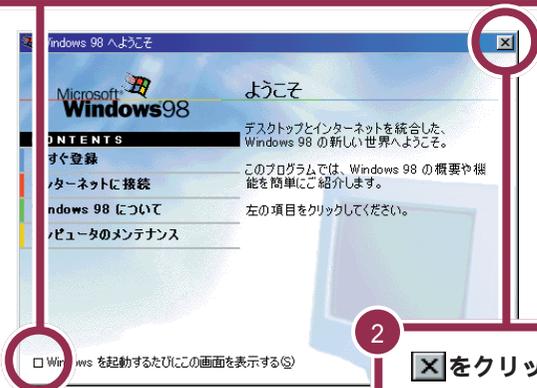
「完了」をクリックすると、途中で画面が真っ暗になり、電源を入れたときと同じような画面に自動的に変わります。その後何度か画面が変わり、「Windows 98へようこそ」の画面が出るまで、約1～2分ほどかかります。何も操作せずに待ってください。

「Windows 98 へようこそ」の画面を閉じる

ここでは、次のように操作して「Windows 98へようこそ」の画面を閉じてください。

1

「Windows を起動するたびにこの画面を表示する」の前のをクリックして、にする



2

をクリックする

まだ、パソコンの準備は終わっていません！

ここまでの作業が終了しても、まだ準備は終わっていません。次のページの「ValueStar の設定を行う」に進んで、準備を続けてください。「ValueStar の設定を行う」の手順を行わないと、このパソコンの機能の一部が使用できなくなってしまうます。

ValueStarの 設定を行う



ここでは、パソコンを使えるようにするための、最後の手順を説明します。この手順を行わないと、このパソコンの機能のうち、使えない機能が出てきます。



1

「スタート」をクリックする
(マウスの左ボタンを1回押す)

上の画面が表示されたあとは、このマニュアルで説明された部分以外、クリックしないように注意してください。間違って別の場所をクリックしてしまい、このマニュアルに載っていない画面が表示された場合、次のいずれかの操作を行って、表示された画面を消してください。

1. キーボードの左上にある【Esc】を押してみる。
2. 「キャンセル」または「いいえ」と書かれたボタンが画面上にあったらマウスでクリックする。
3. 画面の右上に  がある場合、そのボタンをマウスでクリックする。

2

「ValueStar NXを使う準備をします」に矢印を合わせる



一太郎モデルの場合



Wordモデルの場合

3

文字の背景が灰色から濃いブルーに変わったところで、クリックする

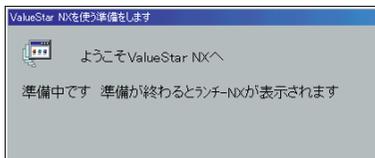


一太郎モデルの場合

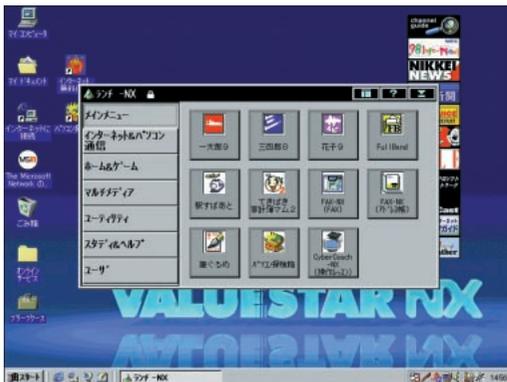


Wordモデルの場合

この画面が出る



しばらくすると、この画面が出る



「ValueStar NXを使う準備をします」が表示される位置は、お使いの機種によって異なることがあります。

ランチ-NX

左の画面で中央に表示されているものをランチ-NXといいます。次回から、パソコンの電源を入れたら、1~2分後には、いつもこの画面が表示されるようになります。いろいろなソフト(プログラム)を利用するための基本になる画面です。

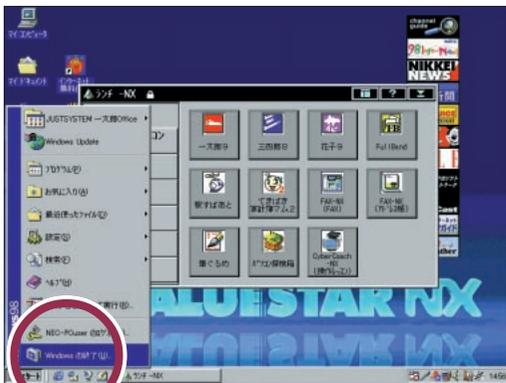
一太郎モデルとWordモデルでは、ランチ-NXのボタンなど、一部の表示が異なります。いまは、違いを気にする必要はありません。

マウスを使ってパソコンの電源を切る

パソコンのセットアップ(最初に電源を入れて使えるようにする作業)の最後に、パソコンの電源を切る必要があります。

1

画面左下にある「スタート」
をクリックする



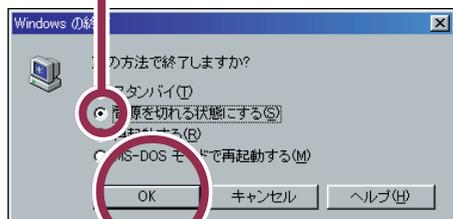
2

「Windows の終了」を
をクリックする



3

「電源を切れる状態にする」が
☑になっていることを確かめる



4

「OK」をクリックする

5

パソコン本体の電源ランプが消え、画面が暗くなったのを確認する

ディスプレイの電源ランプの色が変わる

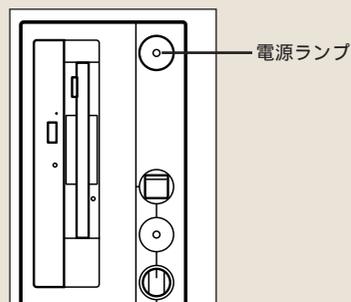
6

スピーカの電源スイッチを押す

スピーカの電源ランプが消える

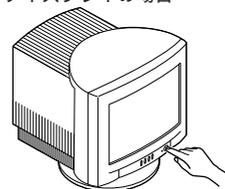
これでセットアップの作業は完了です。

一瞬「しばらくお待ちください」と表示されたあと、自動的にパソコン本体の電源が切れます。
パソコン本体の電源が切れると電源ランプが消灯します。

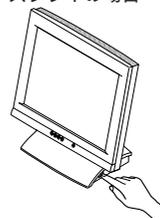


パソコン本体の電源が切れると、ディスプレイの画面も消えますが、ディスプレイの電源が切れたわけではありません。就寝前や外出時など長時間パソコンを使わない場合は、ディスプレイの電源スイッチを押して、電源を切っておきましょう。

CRTディスプレイの場合



液晶ディスプレイの場合



「 」と書かれた方を押す。

パソコンの電源を入れ直して確認する

パソコンの電源を入れ直して、正常に動くことを確認しておきましょう。

1

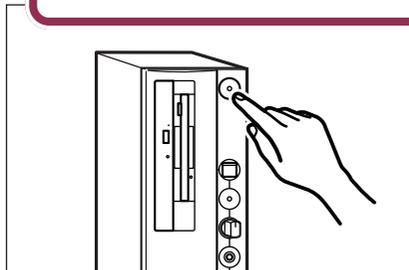
ディスプレイの電源ランプが点灯していることを確かめる

2

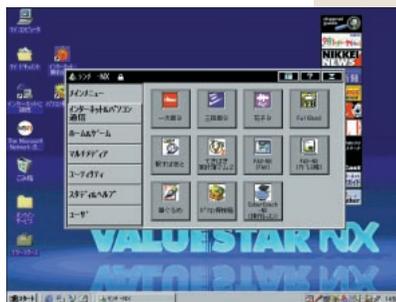
スピーカの電源スイッチを押す

3

パソコン本体の電源スイッチ(上側のスイッチ)を押す

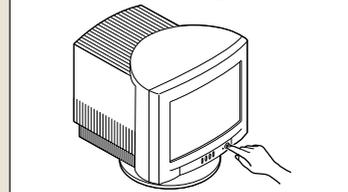


1～2分後にランチ-NXの画面が出る



ディスプレイの電源ランプが点灯していない場合は、次の手順でディスプレイの電源を入れてください。

CRTディスプレイの場合



液晶ディスプレイの場合



「|」と書かれた方を押す。

NECのマークやWindowsのマークなどが出たあと、約1～2分で上図の画面が表示されれば、正しくセットアップが行われています。

20分以上放置すると、画面が真っ暗になる

キーボードのキーに何も触れなかったり、マウスを動かさなかったりする状態が20分以上続くと、自動的に画面が真っ暗になります。これはディスプレイをつけたままにして無駄な電力を使わないように、省電力機能が働くためです。この場合、次のいずれかの操作をすると、元に戻ります。

- ・キーボードのキーを何か一つ押す
- ・マウスを軽く動かす
- ・スリープボタンを押す

最初は、パソコン内部の設定を変更できないモードになっている

このパソコンは、購入したままの状態では、誤ってパソコン内部の設定を変更してしまうことがないように「ベーシックモード」という状態で起動されます。「ベーシックモード」では、パソコン内部の細かな設定を変更することができません。これらの設定を変更する場合、CyberTrio-NXというソフトを使って「ベーシックモード」から「アドバンスモード」に変更する必要があります。

必要に応じて、パソコンを守る設定を行う

このパソコンには、プログラムやデータを守るためのソフトが入っています。CyberWarner-NXは、パソコンの動作に影響を与えるファイルが誤って削除されたり変更されないようにします。VirusScan for Windows 95/98は、フロッピーディスクやインターネットを経由してウィルス(パソコンの動作に悪影響のある不正なプログラム)が感染することを防ぎます。必要に応じて、これらのソフトの設定を行ってください。



参照

省電力機能 『リファレンス』PART4
の「省電力機能(スタンバイ)」



参照

CyberTrio-NX 『リファレンス』
PART1の「Windows 98の利用環境
の変更 < CyberTrio-NX >」



参照

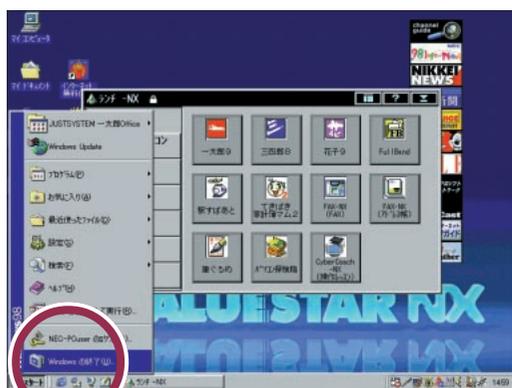
CyberWarner-NX 『リファレンス』
PART1の「Windows 98の動作の
監視 < CyberWarner-NX >」
VirusScan for Windows 95/98
『リファレンス』PART1の「ウイ
ルスの検査と駆除 < VirusScan >」

もう一度、パソコンの電源を切る

最後に、もう一度電源を切って作業を終わりにしましょう。

1

画面左下にある「スタート」を
クリックする
(マウスの左ボタンを1回押す)



2

「Windows の終了」を
クリックする



✓ チェック!!

画面の右下には、現在の時刻が表示されています。この時刻を正確に合わせるすることができます。

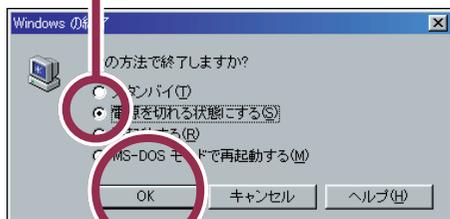
📖 参照

日付と時刻を合わせるには 『困ったときのQ&A』PART1の「日付の設定を変えようとしたら...」

3

「電源を切れる状態にする」が◎になっていることを確かめる

この画面が出る



4

「OK」をクリックする

5

パソコン本体の電源ランプが消え、画面が暗くなったのを確認する

ディスプレイの電源ランプの色が変わる

6

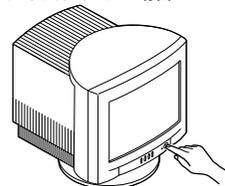
スピーカの電源スイッチを押す

スピーカの電源ランプが消える

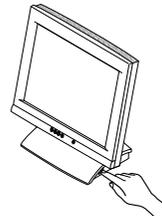
一瞬「しばらくお待ちください」と表示されたあと、自動的にパソコン本体の電源が切れます。

パソコン本体の電源が切れると、ディスプレイの画面も消えますが、ディスプレイの電源が切れたわけではありません。就寝前や外出時など長時間パソコンを使わない場合は、ディスプレイの電源スイッチを押して、電源を切っておきましょう。

CRT ディスプレイの場合



液晶ディスプレイの場合



「 」と書かれた方を押す。



正規ユーザー の登録を行う

パソコンが使えるようになったら、正規ユーザー（98 OFFICIAL PASSメンバー）への登録を必ず行ってください。

「正規登録ユーザ（98 OFFICIAL PASSメンバー）」に登録すると、あなたの名前と「お客様登録番号」がプリントされた「98 OFFICIAL PASS」カードが発行されます。

「正規登録ユーザ」の方は、NECインターネットホームページ98Informationで、さまざまな特典情報をご覧いただけますので、ぜひ登録を済ませてください。

登録には、ハガキまたはFAXで「お客様登録申込書」を送る方法と、インターネットに接続して登録する方法があります。

ハガキまたはFAX を送る

まだパソコンの操作に慣れていない方は、ハガキまたはFAXでの登録をお勧めします。添付品収納箱の中に「98 OFFICIAL PASSお客様登録申込書」が入っています。

1

専用ハガキまたはFAX用紙に
必要事項を記入する

2

記入したら、98 OFFICIAL
PASS 登録センターへ送る

詳しくは、「98 OFFICIAL PASSお客様登録申込書」をご覧ください。

記入方法などについては、「98 OFFICIAL PASSお客様登録申込書」をご覧ください。

インターネットに接続して登録する

すでにパソコンやインターネット利用の経験がある方は、ハガキやFAXの代わりにインターネットに接続して登録することができます。インターネットに接続する方法については、『インターネット入門』をご覧ください。次のページから登録が可能です。

98 OFFICIAL PASS お客様登録カウンター
<http://www.pc98.nec.co.jp/register/>

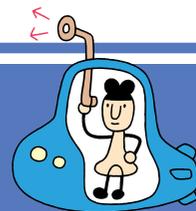
これで、パソコンの準備はOK!

一息入れたら、次ページの「他のマニュアルに進んでみる」を読んで、目的に合ったマニュアルに進んでみましょう。

98 OFFICIAL PASS お客様登録カウンターは、Internet Explorerの「お気に入り」に登録されています。

他のマニュアルに進んでみる

ここでは、他のマニュアルの紹介をします。パソコンの接続と準備が終わったら、次は自分の目的に合ったマニュアルに進んでみましょう。



STEP2 入門

パソコンを使った経験がない方は、次に必ず、このマニュアルをご覧ください。キーボードやマウスの使い方など、パソコンの基本を学ぶことができます。

拡張の手引き

オプションや周辺機器について書かれています。プリンタや USB 機器をつなぎたいとき、メモリを増設したいときなどにご覧ください。

STEP3 活用

Windows の基本操作についてのマニュアルです。デスクトップの使い方や、Windows の設定方法などが書かれています。

困ったときの Q&A

なにか困ったときには、まずこのマニュアルをご覧ください。さまざまなトラブルの対処法が詳しく書かれています。また、買った直後の状態に戻す方法(再セットアップ)についても説明しています。

インターネット入門

インターネットについてはこのマニュアルをご覧ください。インターネットのはじめ方、電子メールの活用方法などについて詳しく書かれています。

リファレンス

パソコン中上級者向けのマニュアルです。アプリケーションやハードウェアの説明など、このパソコンについて詳しく書かれています。

パソコン探検箱

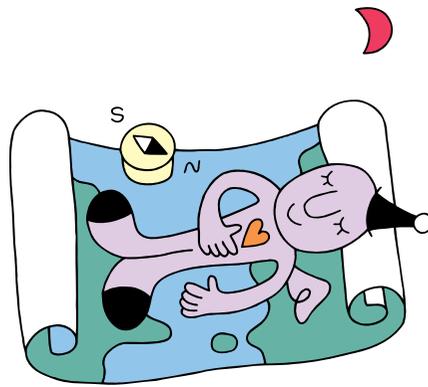
『パソコン探検箱』は、パソコンの画面で見るマニュアルです。

目的に合わせたアプリケーションの操作方法や、困ったときの対処法、お客様サポート窓口の一覧などの説明を、パソコンの画面上で見ることができます。

『パソコン探検箱』の使い方については、『STEP2 入門』をご覧ください。



付 録



こんなときは

本書の「PART 3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」で、電源を入れたあと、困ったことが起きたときは、次の説明を参考に対処してください。

キーを押しても文字が入らないとき



キーボードから何の文字も入らない

キーボードが正しく接続できていない可能性があります。キーボードの接続を確認して、キーボードのプラグを再度コネクタに差し込んでみてください。

参照 PART2の「キーボードを接続する」(p.22)

画面の文字入力欄に「|」が点滅していないと、文字を入れることはできません。マウスで矢印を入力欄に合わせ、クリックしてください。「|」が点滅したら文字を入れてください。



自分の名前を漢字で入れたいとき

はじめてパソコンを利用されるかた、ワープロを使った経験のないかたは、本書の説明にしたがってローマ字(アルファベット)で名前を入れるようにお勧めします。漢字に変換する方法は、『STEP2 入門』の「PART5 キーボードに慣れよう(Word編)」または「PART7 キーボードに慣れよう(一太郎編)」で説明していますが、名前によっては、一度で正しい漢字に変換できない場合があります。

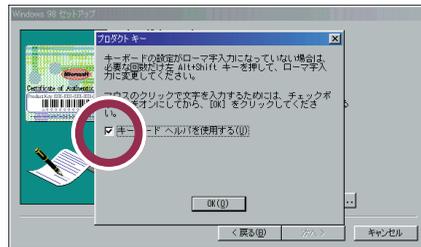
プロダクト キーの入力がうまくいかないときは

キーボードに慣れていない方は、「キーボード ヘルパ」機能を使って、マウスでプロダクト キーを入れてください。

- 1 「プロダクト キー」の画面で「ヘルプ」をクリックする。



- 2 「キーボード ヘルパを使用する」の左にある をクリックして に変える。



- 3 「OK」をクリックする。
「プロダクト キー」の画面に戻る。

- 4 アルファベットや数字のボタンをクリックして、プロダクト キーを入れる。



画面が突然暗くなってしまったとき

ValueStarの設定を終わったあと、キーボードのキーに何も触れなかったり、マウスを動かさなかったりする状態が20分以上続くと、自動的に画面が真っ暗になります。これは、ディスプレイをつけたままにして無駄な電力を使わせないように、省電力機能が働くためです。この場合、次のいずれかの操作をすると、元に戻ります。

- ・キーボードのキーを何か一つ押す
- ・マウスを軽く動かす
- ・スリープボタンを押す

 参照 省電力機能 『リファレンス』PART4の「省電力機能(スタンバイ)」

ローマ字つづり一覧

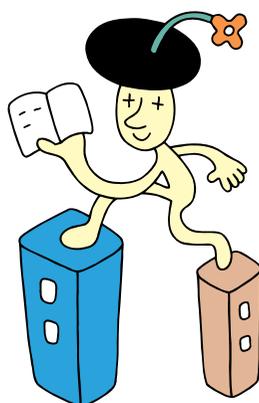
あ	い	う	え	お	だ	ぢ	づ	で	ど
a	i	u	e	o	da	di	du	de	do
	(yi)	(wu)							
か	き	く	け	こ	ば	び	ぶ	べ	ぼ
ka	ki	ku	ke	ko	ba	bi	bu	be	bo
さ	し	す	せ	そ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
sa	si	su	se	so	pa	pi	pu	pe	po
	(shi)								
た	ち	つ	て	と	しゃ	しい	しゅ	しえ	しょ
ta	ti	tu	te	to	sya	syi	syu	sye	syo
	(chi)	(tsu)			(sha)		(shu)	(she)	(sho)
な	に	ぬ	ね	の	ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちょ
na	ni	nu	ne	no	tya	tyi	tyu	tye	tyo
は	ひ	ふ	へ	ほ	(cha)		(chu)	(che)	(cho)
ha	hi	hu	he	ho	(cya)	(cyi)	(cyu)	(cye)	(cyo)
		(fu)							
ま	み	む	め	も	にゃ	にい	にゅ	にえ	にょ
ma	mi	mu	me	mo	nya	nyi	nyu	nye	nyo
や	い	ゆ	いえ	よ	ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひょ
ya	yi	yu	ye	yo	hya	hyi	hyu	hye	hyo
ら	り	る	れ	ろ	みゃ	みい	みゅ	みえ	みょ
ra	ri	ru	re	ro	mya	myi	myu	mye	myo
わ	うい	う	うえ	を	りゃ	りい	りゅ	りえ	りょ
wa	wi	wu	we	wo	rya	ryi	ryu	rye	ryo
ん					ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎょ
nn					gya	gyi	gyu	gye	gyo
が	ぎ	ぐ	げ	ご	じゃ	じい	じゅ	じえ	じょ
ga	gi	gu	ge	go	zya	zyi	zyu	zye	zyo
					(ja)		(ju)	(je)	(jo)
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	(jya)	(jyi)	(jyu)	(Jye)	(jyo)
za	zi	zu	ze	zo					
	(ji)								

ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ
dya	dyi	dyu	dye	dyo
でゃ	でい	でゅ	でえ	でよ
dha	dhi	dhu	dhe	dho
びゃ	びい	びゅ	びえ	びよ
bya	byi	byu	bye	byo
ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ
pya	pyi	pyu	pye	pyo
てゃ	てい	てゅ	てえ	てよ
tha	thi	thu	the	tho
ふゃ	ふい	ふゅ	ふえ	ふよ
fya	fyi	fyu	fye	fyo
ふぁ	ふい	ふ	ふえ	ふぉ
fa	fi	fu	fe	fo
う`あ	う`い	う`	う`え	う`お*
ヴぁ	ヴい	ヴ	ヴえ	ヴぉ**
va	vi	vu	ve	vo
ぁ	い	う	え	ぉ
la	li	lu	le	lo
ゃ	い	ゅ	え	よ
lya	lyi	lyu	lye	lyo

*ATOK12の場合

**Microsoft IME 98の場合

索引



英字

ACアダプタの接続	46
Altキー	56
BackSpaceキー	58
CRTディスプレイの接続	30
Enterキー	54
Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド	52
USBケーブル	11,25
ValueStarの設定	65
Windowsの終了	67,71
Word	56,66

あ行

アース線	41
アース線の接続	41
一太郎	67,71
液晶ディスプレイの接続	33

か行

キーボードの接続	22
クリック	59
結露	2
コンセント	7,43

さ行

使用許諾契約	60
スクロール	60
スタビライザの取り付け	18
スピーカの接続	35
セットアップ	53

た行

ディスプレイ	8,9,30
電源ケーブルの接続	43
電源スイッチ	52,53
電源の取り方	7
電源を入れる	52,53,69
電源を切る	67,71
電話回線の接続	38

な行

名前の入力	58
-------------	----

は行

パソコンの接続	15~49
パソコンのセットアップ	51~72
パソコンの置き場所	2~6
パソコンの置き方	8
プロダクトキー	52
プロダクトキーの入力	61

ま行

マウス	29,55
マウスの接続	29
マウスの動かし方	55
モジュラーケーブル	4,38
文字を打ち間違えたら	58

ら行

ランチ-NX	66
ローマ字のつづり方	81

わかる、できる、役に立つ!!

STEP1 接続の準備



PC98-**NX** SERIES

VALUESTAR NX

VC40D/5 VC35D/5 VC33H/5 VC30H/5

VE40D/5 VE35D/5 VE30H/5

初版 1998年11月

NEC

P

808-883865-005-A

このマニュアルはエコマーク認定の
再生紙を使用しています。

